

目黒区 子ども総合計画改定に係る基礎調査

調査結果報告書

【概要版】

令和6年3月

目黒区

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象および方法、回収状況	1
3. 報告書の見方	1
第2章 保護者調査の結果（入学前保護者・小学生保護者）	2
1. 就労状況	2
2. 教育・保育事業の利用状況について	5
3. 地域の子育て支援事業の利用状況について	7
4. お子さんの病気の際の対応について	9
5. 小学校での放課後の過ごし方の意向について	11
6. 子育てについて	12
第3章 子ども調査（小学生・中高生）	18
1. 放課後等の過ごし方	18
2. 家庭	26
3. 人権	27
4. 不安や悩み	29
5. 活動について	31
第4章 ヤングケアラーについて（保護者・子ども）	32
1. 保護者調査の結果	32
2. 子ども調査の結果	33

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

令和6年度に行う、『目黒区子ども総合計画』の策定に向けて、さまざまな地域の子ども・子育て支援事業や学童保育クラブの充実等のため、保護者や子ども本人の現在の目黒区の子育て環境や背生活状況の実態やニーズを把握し、次期計画策定に必要な基礎資料を作成するため、調査を実施しました。

2. 調査対象および方法、回収状況

対象地域：目黒区に居住する18歳以下の子どもを持つ保護者、子ども
 抽出方法：保護者調査は、調査区分に該当する母集団から無作為抽出法
 子ども調査は、調査区分に該当する母集団への全数調査
 調査期間：令和5年10月11日（水）～令和5年11月1日（水）
 調査方法：郵送配布、郵送もしくはWEB回収（子ども調査はWEBのみ）

調査種別による対象者の考え方、回収数は下記の表の通り

番号	調査票名称	対象者の考え方	対象数	回収数	回収率
01	小学校入学前保護者調査	就学前のお子さんを持つ保護者【標本調査】	3,000人	1,136人	37.9%
02	小学生保護者調査	小学生のお子さんを持つ保護者【標本調査】	3,000人	1,114人	37.1%
03	小学生調査	小学校2・4・6年生【全数調査】	6,224件	1,544人	24.8%
04	中高生調査	中学校1・3年生および令和6年4月1日時点で16歳から18歳の方【全数調査】	9,494件	1,581人	16.7%

3. 報告書の見方

【共通事項】

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が0の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、設問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化してある場合があります。

第2章 保護者調査の結果（入学前保護者・小学生保護者）

1. 就労状況

(1) 保護者の就労状況

保護者の就労状況について、母親では「フルタイム就労で産休・育休等ではない」が入学前保護者で46.8%、小学生保護者で44.7%となっており、小学生保護者に比べて入学前保護者は「パート・アルバイトで育休等ではない」が少なく、「フルタイムで育休等である」が多くなっている。

父親では「フルタイム就労で産休・育休等ではない」が入学前保護者・小学生保護者ともに約9割を占めている。

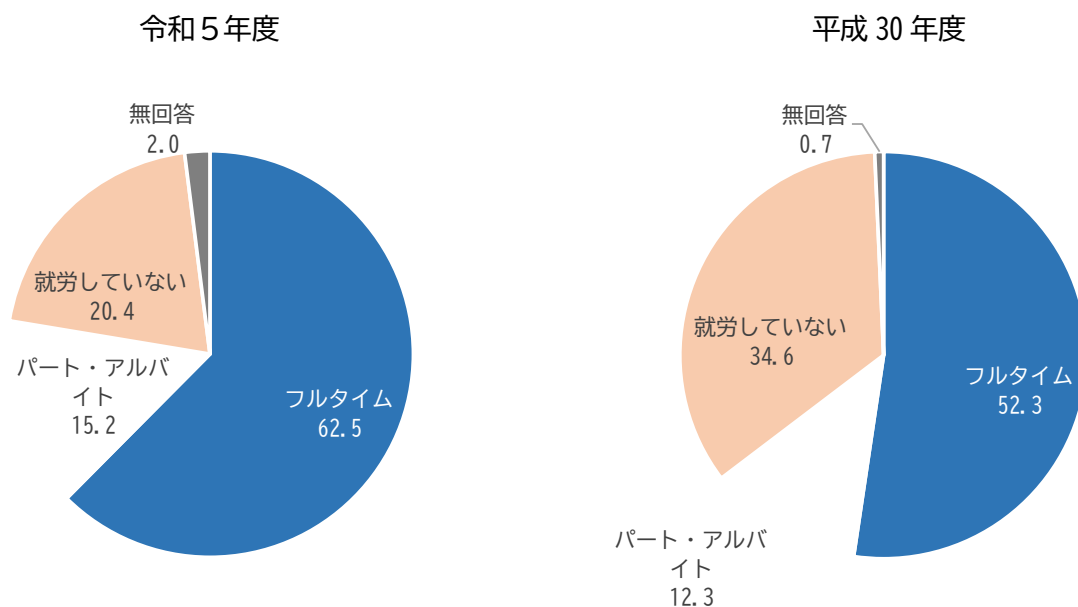
			n	フルタイム就労で産休・育休等ではない	フルタイム就労で産休・育休中である	パート・アルバイト等就労中ではない	パート・アルバイト等就労中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答	%
母親	入学前保護者	1,136		46.8		13.6		20.2		2.0	
	小学生保護者	1,114		44.7		25.0		24.7		2.6	
父親	入学前保護者	1,136		90.4		0.7		0.5		6.0	
	小学生保護者	1,114		89.5		1.2		0.8		8.2	

(2) 母親の就労状況の5年前との比較

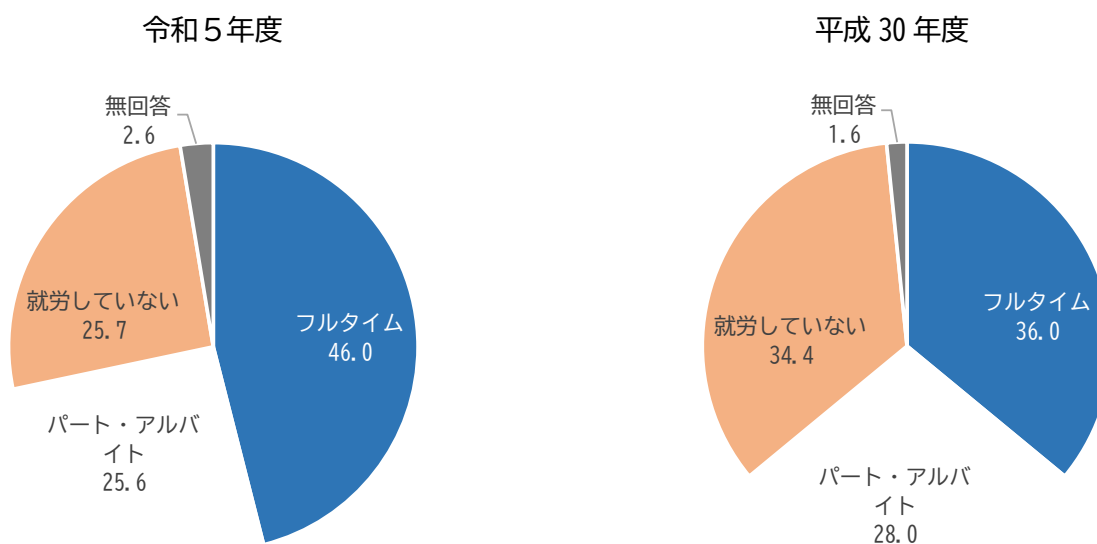
母親の就労状況を5年前の結果と比較すると、入学前保護者では「フルタイム」が平成30年度の52.3%に対し、令和5年度は62.5%と約10ポイント増加している。

小学生保護者においても「フルタイム」が平成30年度の36.0%に対し、令和5年度は46.0%と約10ポイント増加している。

<入学前保護者>

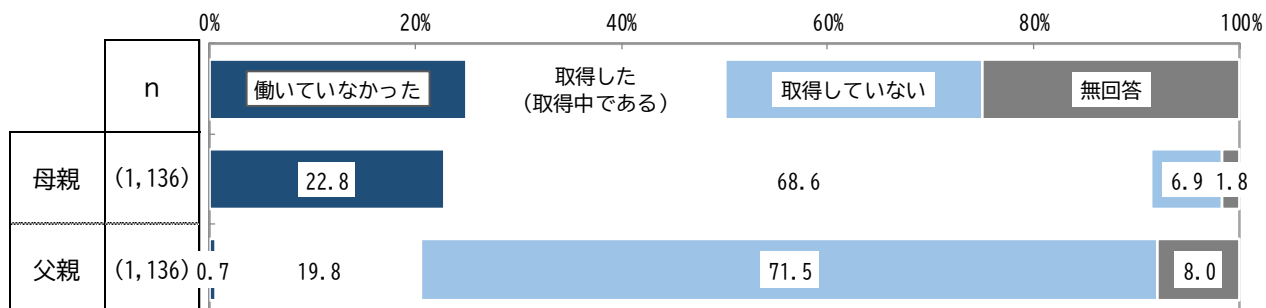


<小学生保護者>



(3) 育児休業の取得状況（入学前保護者のみ）

育児休業の取得状況について、「取得した（取得中である）」は母親で68.6%、父親で19.8%となっている。

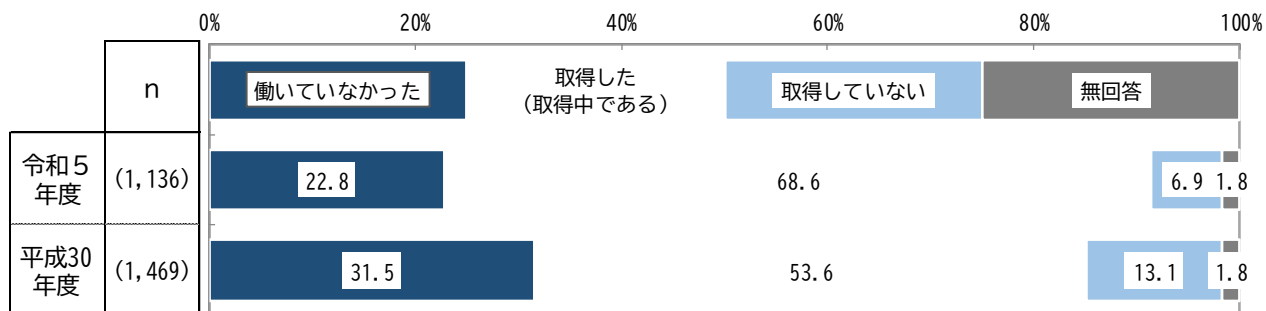


(4) 5年前との比較

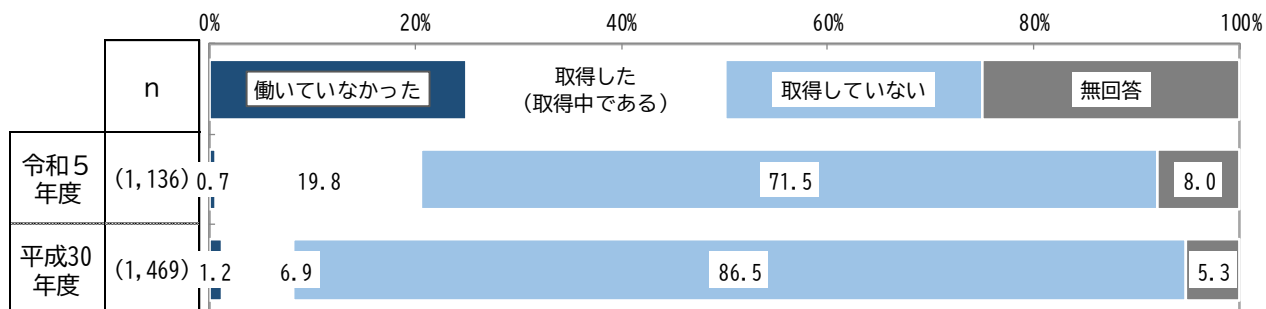
育児休業の取得状況について5年前と比較すると、母親では「取得した（取得中である）」が平成30年度は53.6%に対し、令和5年度は68.6%と約15ポイントの増加となっている。

父親では「取得した（取得中である）」が平成30年度は6.9%に対し、令和5年度は19.8%と約13ポイントの増加となっている。

<母親>



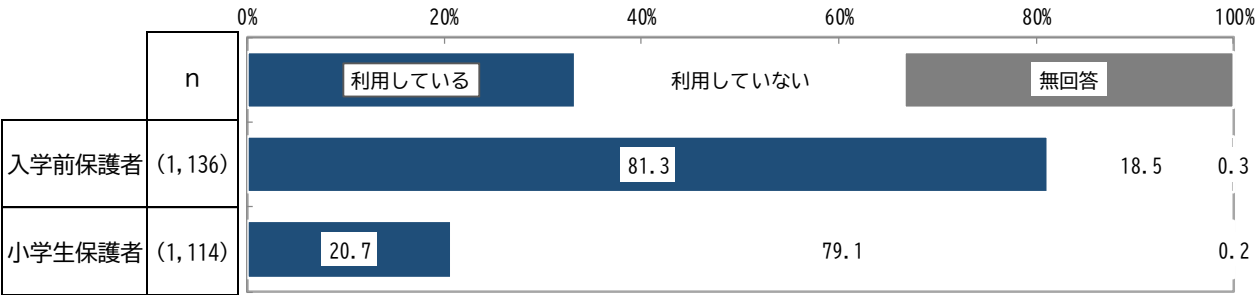
<父親>



2. 教育・保育事業の利用状況について

(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況

定期的な教育・保育事業の利用状況について、「利用している」は入学前保護者で 81.3%、小学生保護者で 20.7%となっている。

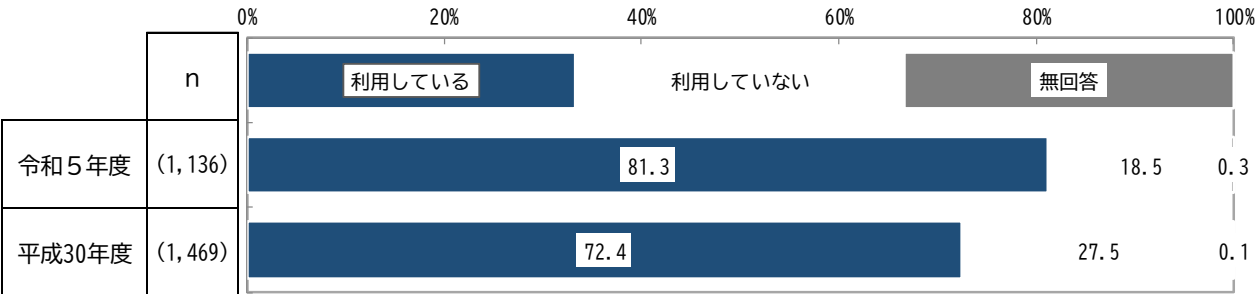


(2) 定期的な事業の利用状況の5年前との比較

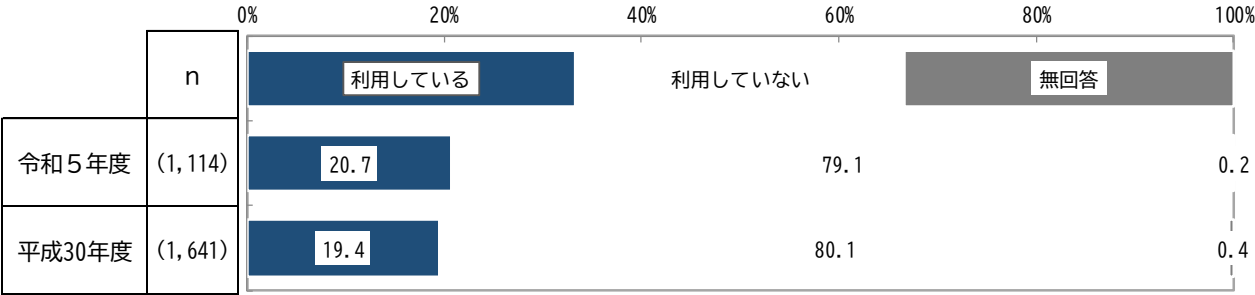
定期的な事業の利用状況を5年前と比較すると、入学前保護者では「利用している」が平成30年度の72.4%に対し、令和5年度は81.3%と約9ポイント増加している。

一方で、小学生保護者では平成30年度の19.4%に対し、令和5年度は20.7%と大きな差はなかった。

<入学前保護者>



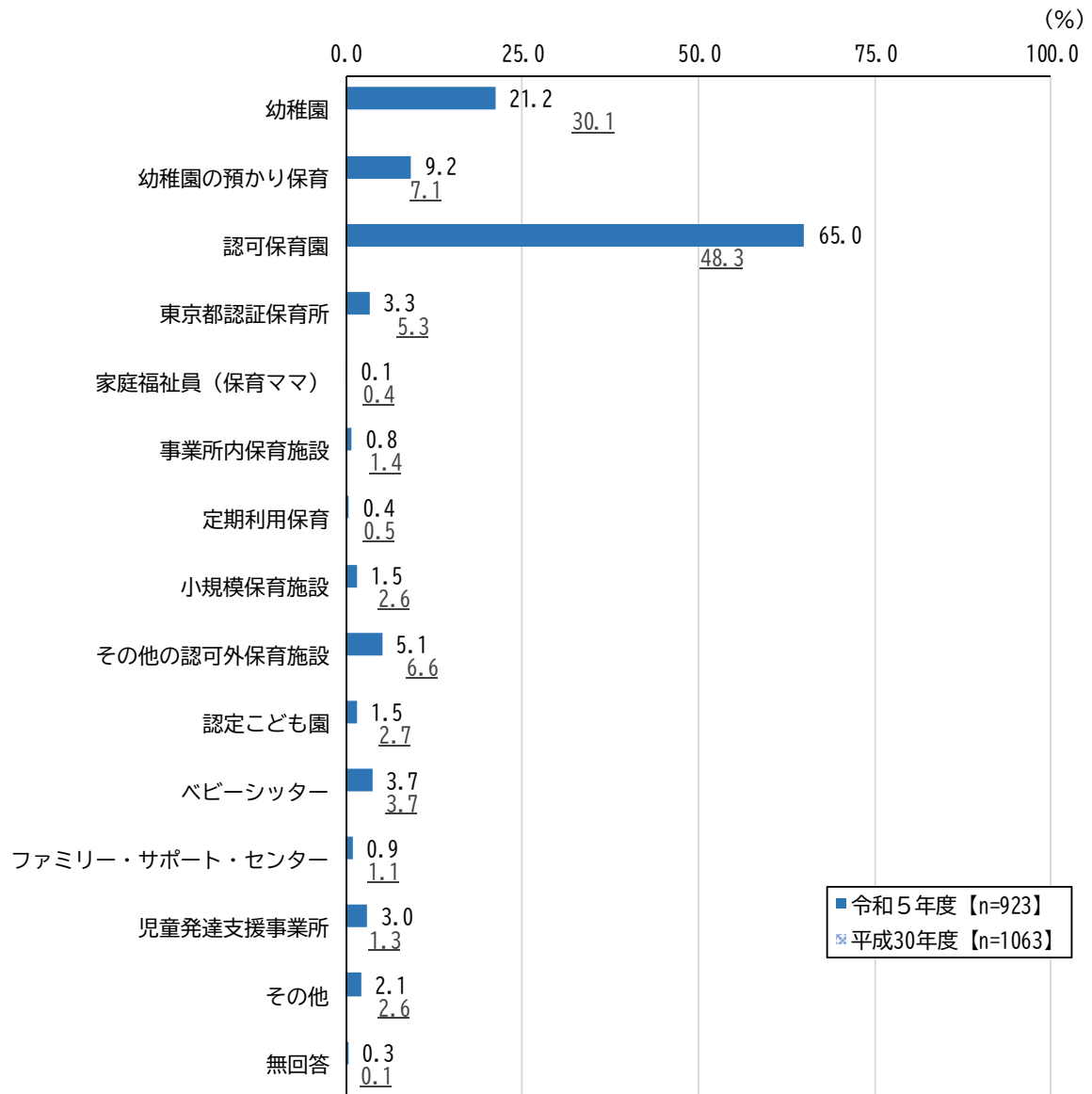
<小学生保護者>



(3) 定期的に利用している事業（入学前保護者のみ）

定期的に利用している事業について、「認可保育園」が65.0%と最も多く、次いで「幼稚園」が21.2%となっている。

平成30年度と比較すると、「幼稚園」が約9ポイント減少し、その反面「認可保育園」が約17ポイント増加している。

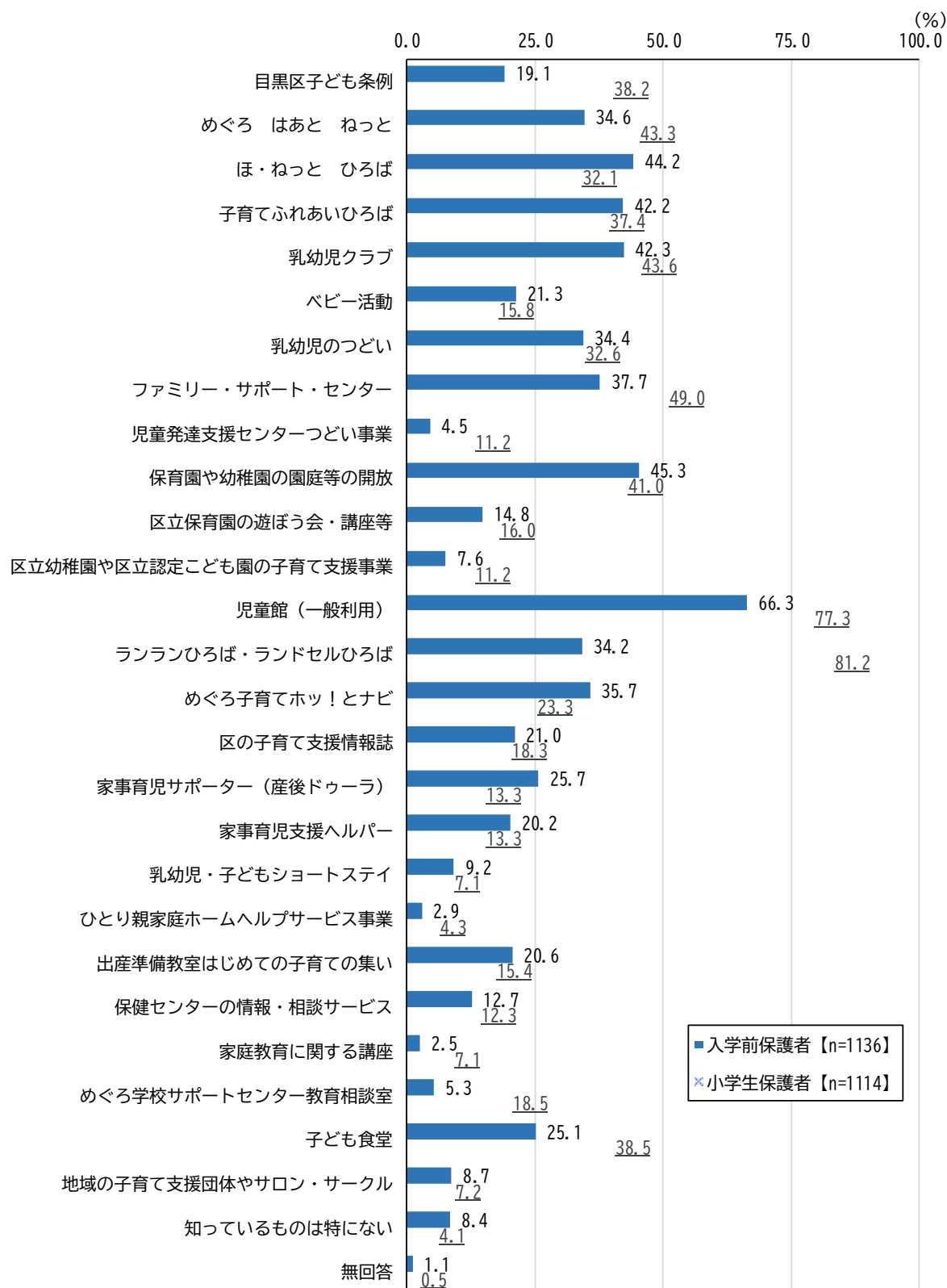


3. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 子育て支援サービスの認知度

子育て支援サービスの認知度について、入学前保護者では「児童館」が66.3%と最も多く、次いで「保育園や幼稚園の園庭等の開放」が45.3%となっている。

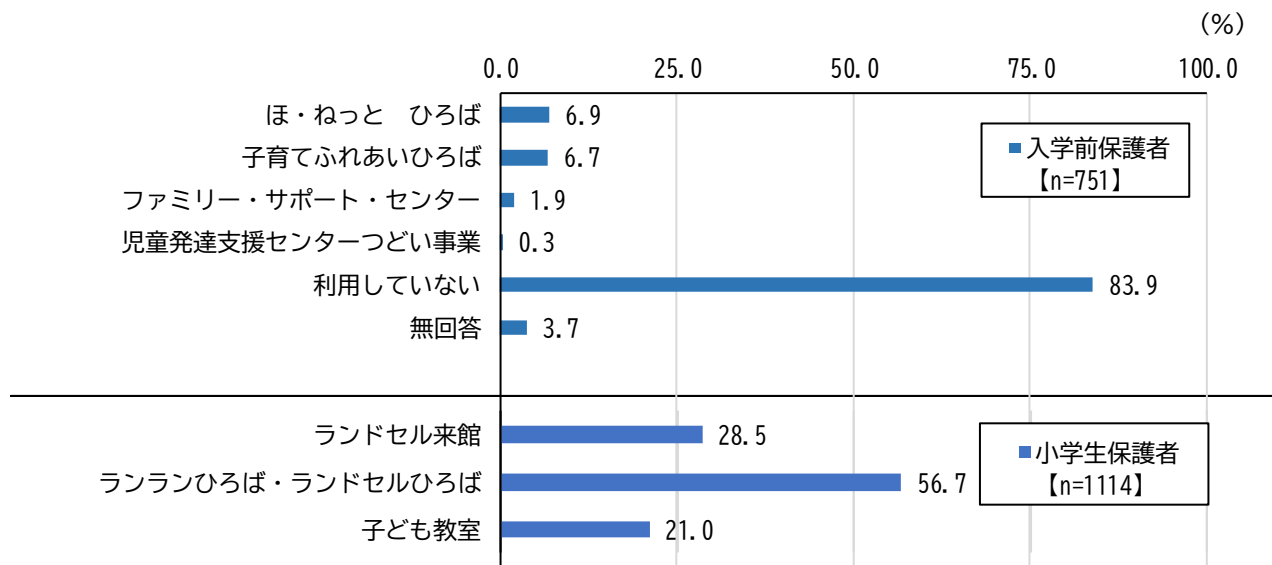
一方で、小学生保護者では「ランランひろば・ランドセルひろば」が81.2%と最も多く、次いで「児童館」が77.3%となっている。



(2) 子育て支援事業の利用状況

子育て支援事業の利用率について、入学前保護者では“ほ・ねっと ひろば”で6.9%、“子育てふれあいひろば”で6.7%、“ファミリー・サポート・センター”で1.9%、“児童発達支援センターつどい事業”で0.3%となっている。

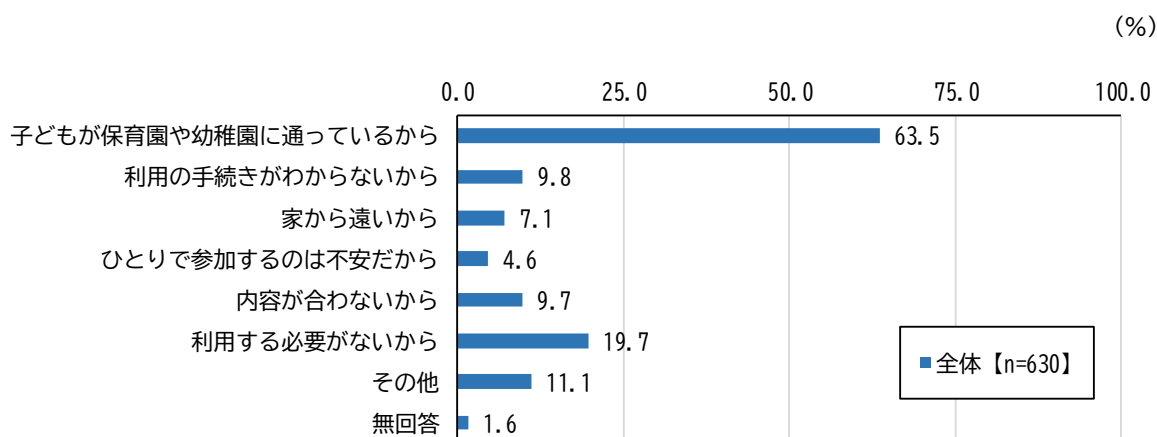
小学生保護者では、“ランドセル来館”で28.5%、“ランランひろば・ランドセルひろば”で56.7%、“子ども教室”で21.0%となっている。



(3) 子育て支援事業を利用しない理由（入学前保護者のみ）

子育て支援事業を利用しない理由について、「子どもが保育園や幼稚園に通っているから」が63.5%と最も多く、次いで「利用する必要があるから」が19.7%となっている。

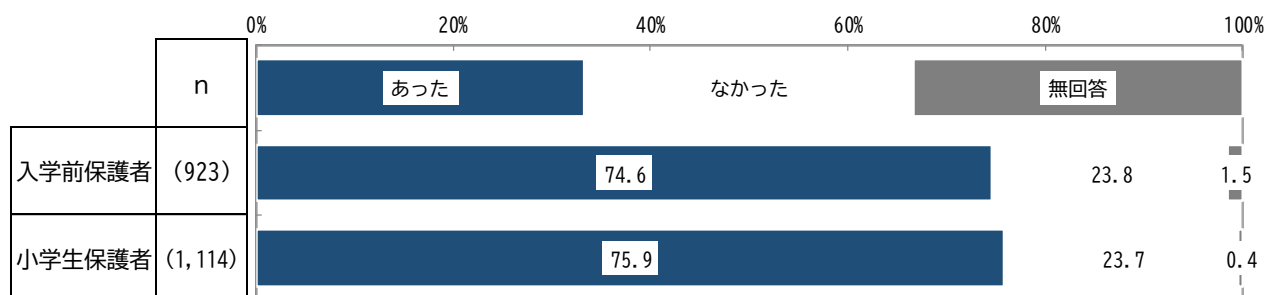
なお、「利用の手続きがわからない」「家から遠い」「ひとりで参加するのは不安」「内容が合わない」の合計は31.2%となっている。



4. お子さんの病気の際の対応について

(1) 1年間に病気やケガで通常事業が利用できなかったこと

病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験について、入学までは「あった」が74.6%、小学生保護者では75.9%となっている。

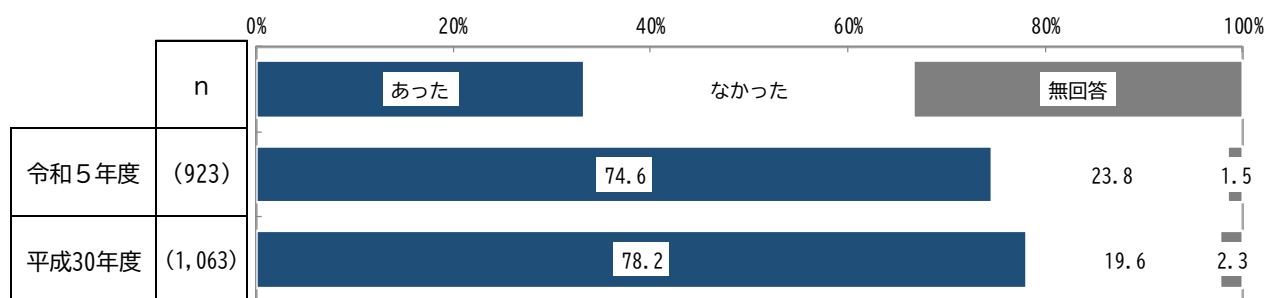


(2) 5年間との比較

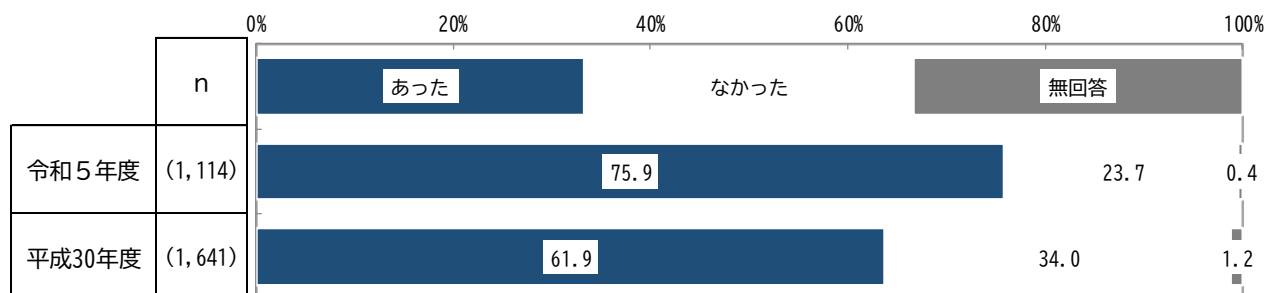
子どもの病気等での定期的な事業を利用できなかった経験を5年前と比較すると、入学前保護者では「あった」が平成30年度の78.2%に対し、令和5年度は74.6%と大きな差はなかった。

一方で、小学生保護者では平成30年度の61.9%に対し、令和5年度は75.9%と約14ポイント増加した。

<入学前保護者>



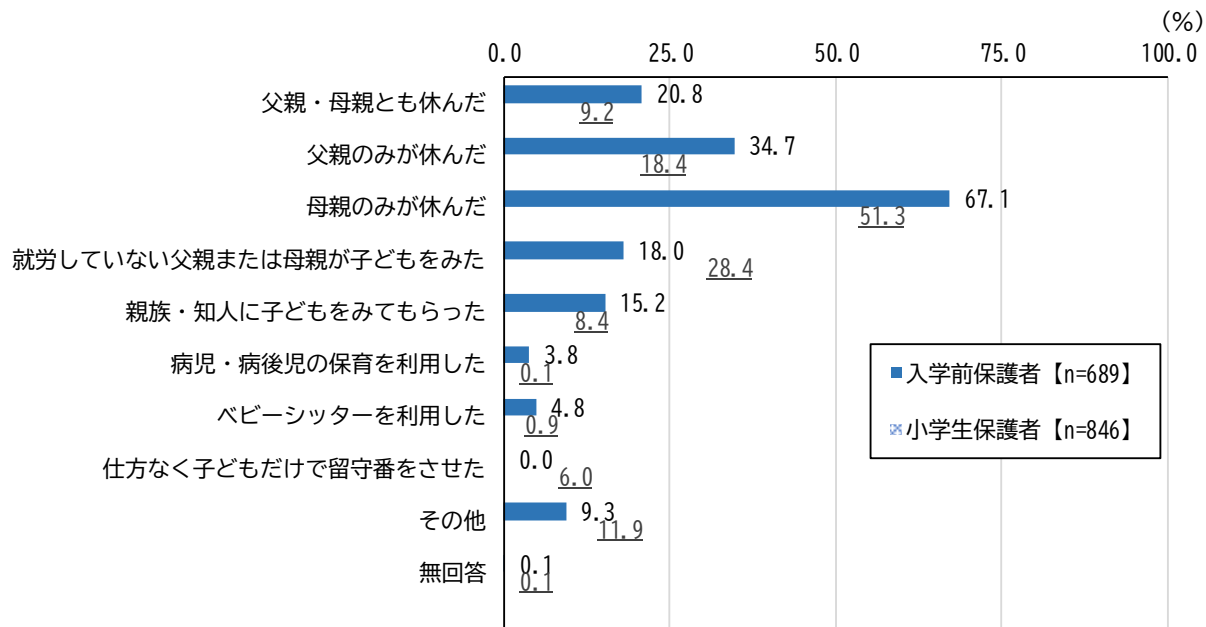
<小学生保護者>



(3) 通常事業が利用できなかった際の対応

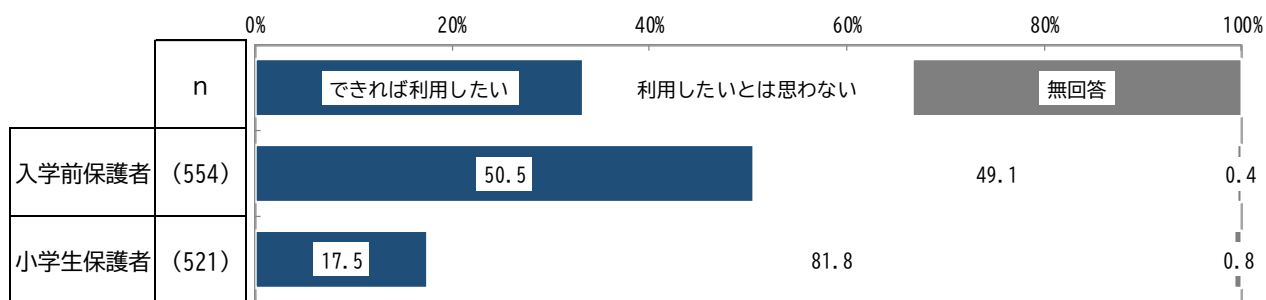
通常の事業が利用できなかった時の対応について、入学前保護者・小学生保護者ともに「母親のみが休んだ」が最も多く、次いで入学前保護者では「父親のみが休んだ」が34.7%、小学生保護者では「就労していない父親または母親が子どもをみた」が28.4%となっている。

なお、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は入学前保護者では0%、小学生保護者では6.0%となっている。



(4) 病児・病後児保育施設等の利用意向

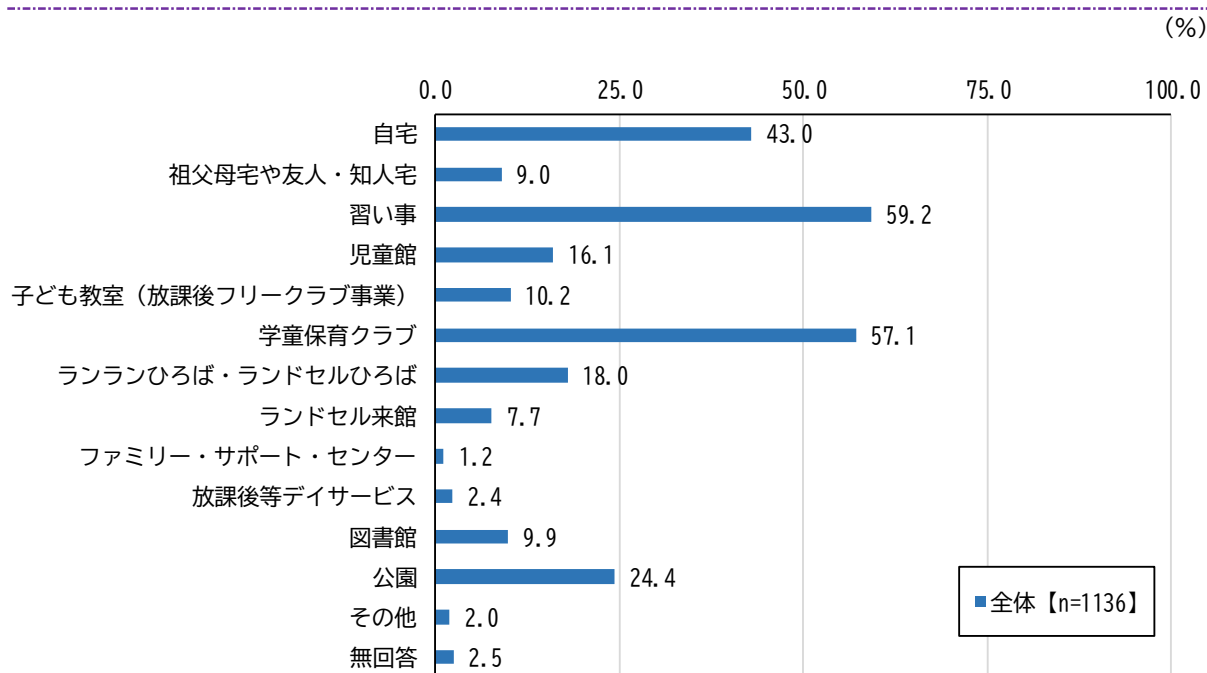
病児・病後児保育の利用意向について、「できれば利用したい」は入学前保護者で50.5%、小学生保護者で17.5%となっている。



5. 小学校での放課後の過ごし方の意向について

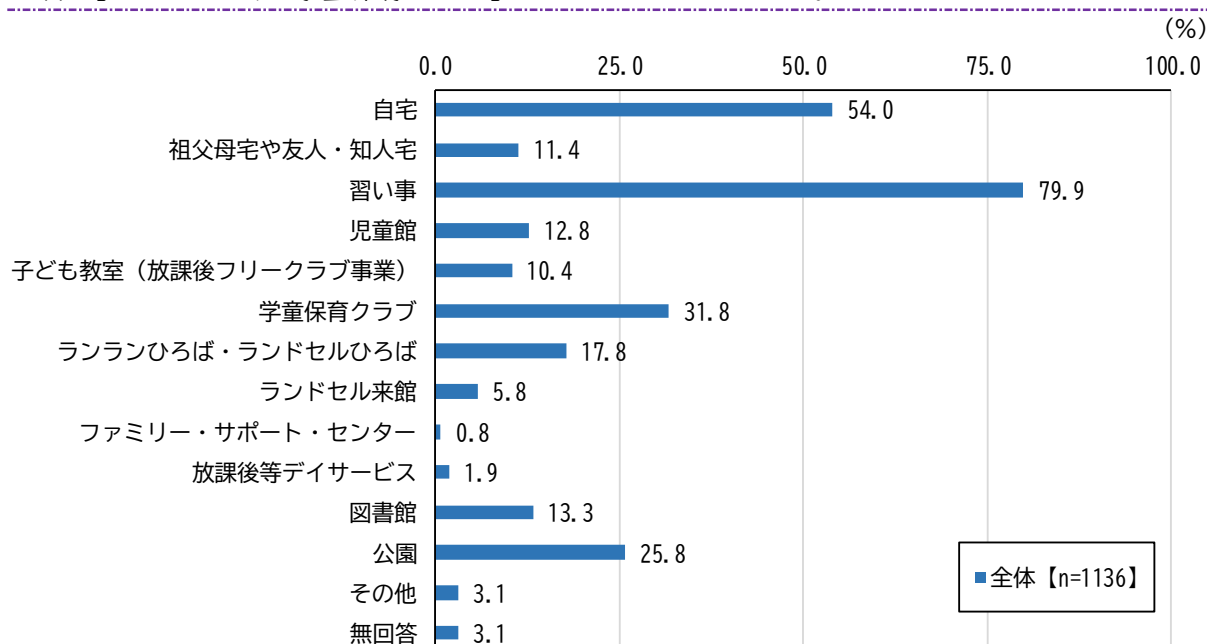
(1) 小学校低学年時の希望する放課後の過ごし方（入学前保護者のみ）

小学校低学年時に希望する放課後の過ごし方について、「習い事」が59.2%と最も多く、次いで「学童保育クラブ」が57.1%、「自宅」が43.0%となっている。



(2) 小学校高学年時の希望する放課後の過ごし方（入学前保護者のみ）

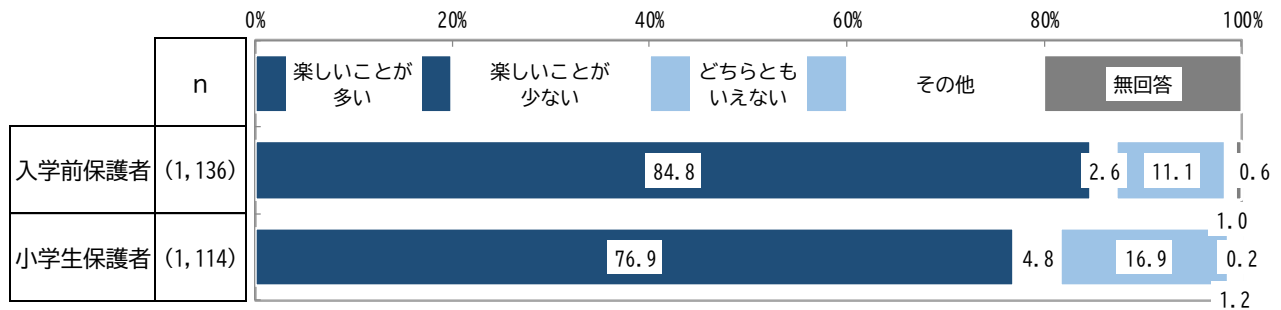
小学校高学年時に希望する放課後の過ごし方について、「習い事」が79.9%と最も多く、次いで「自宅」が54.0%、「学童保育クラブ」が31.8%となっている。



6. 子育てについて

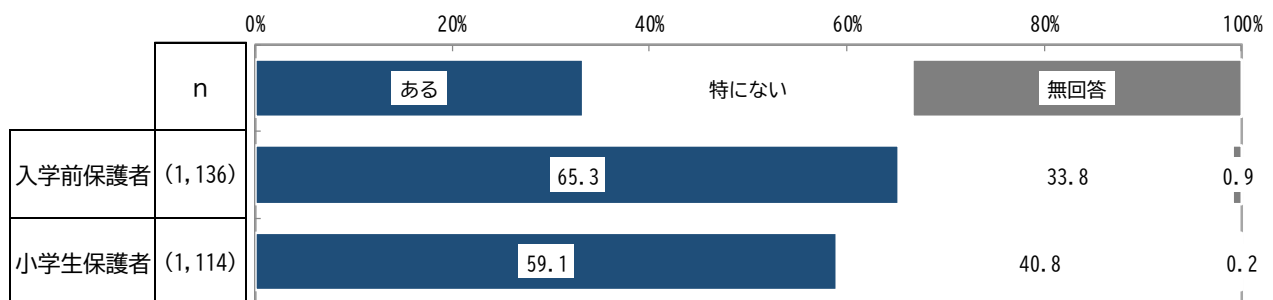
(1) 子育てへの意識

子育てへの意識について、「楽しいことが多い」は入学前保護者で84.8%、小学生保護者で76.9%となっている。



(2) 日頃悩んでいることや困っていることの有無

悩みや困りごとについて、「ある」は入学前保護者で65.3%、小学生保護者で59.1%となっている。

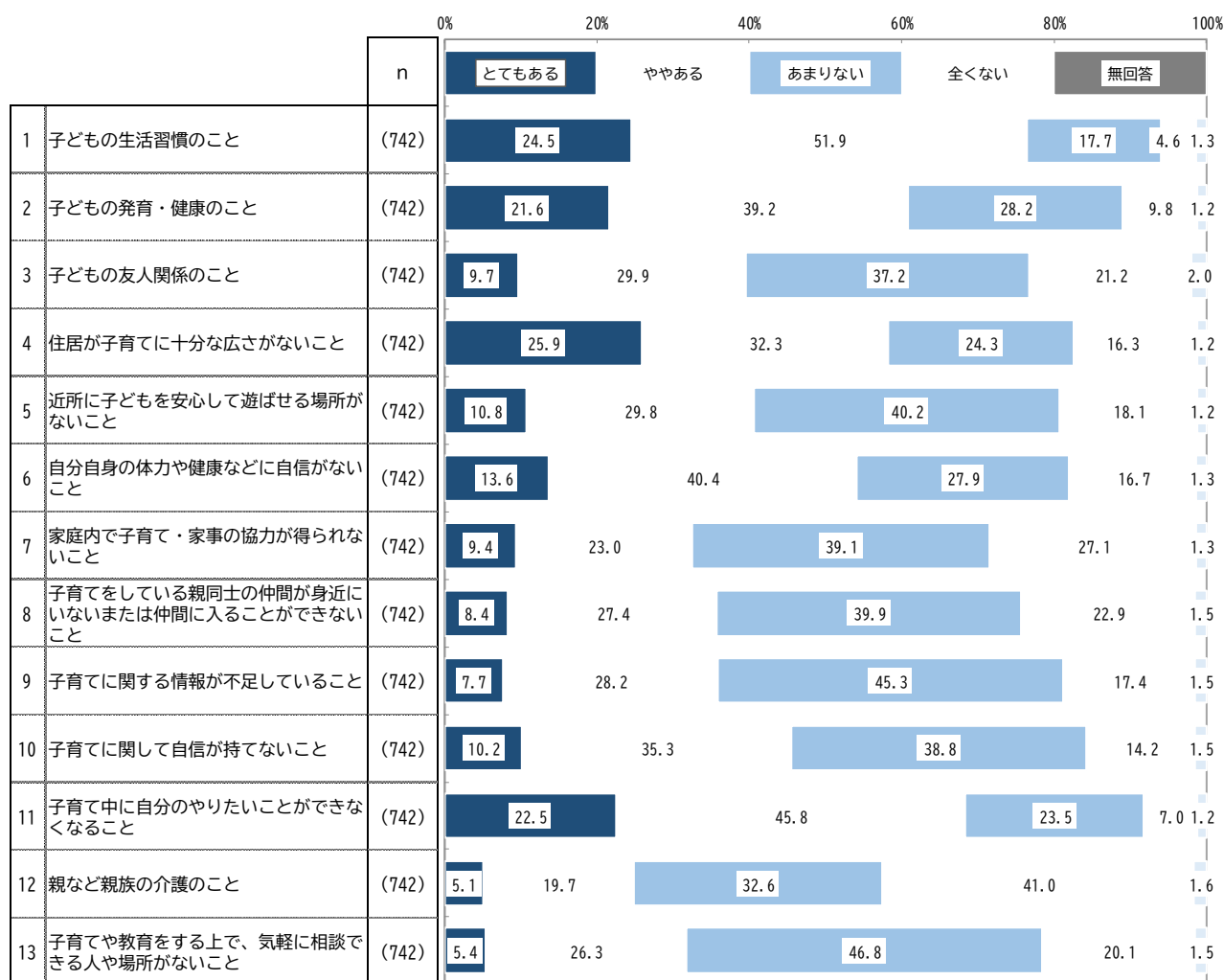


(3) 子育て中の不安や悩み

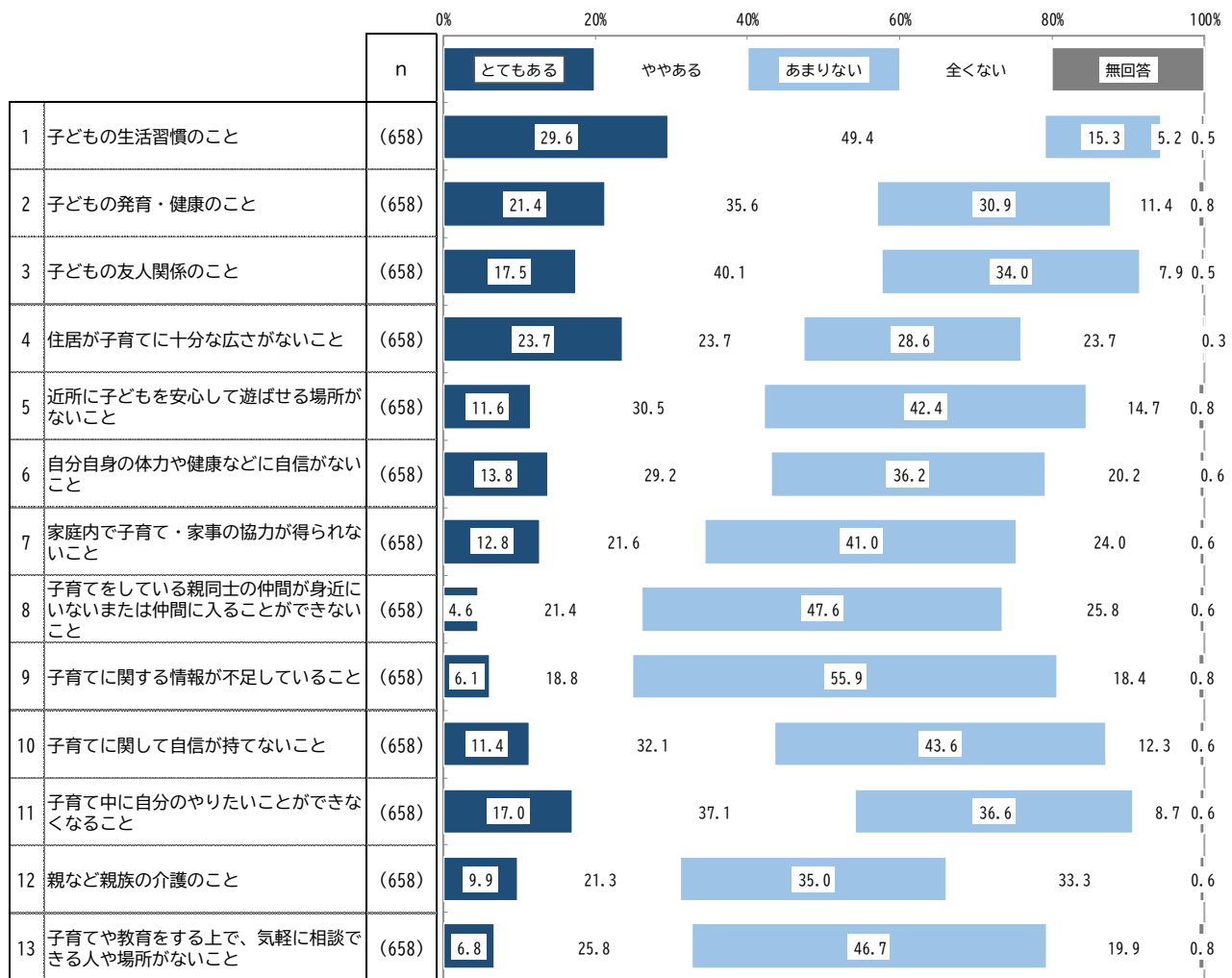
子育ての不安や悩みの内容について、「とてもある」「ややある」の合計は、入学前保護者では“子どもの生活習慣のこと”で76.4%と最も多く、次いで“子育て中に自分のやりたいことができないこと”が68.3%、“子どもの発育・健康のこと”が60.8%となっている。

小学生保護者では、“子どもの生活習慣のこと”で79.0%と最も多く、次いで“子どもの友人関係のこと”が57.6%、“子どもの発育・健康のこと”が57.0%となっている。

<入学前保護者>



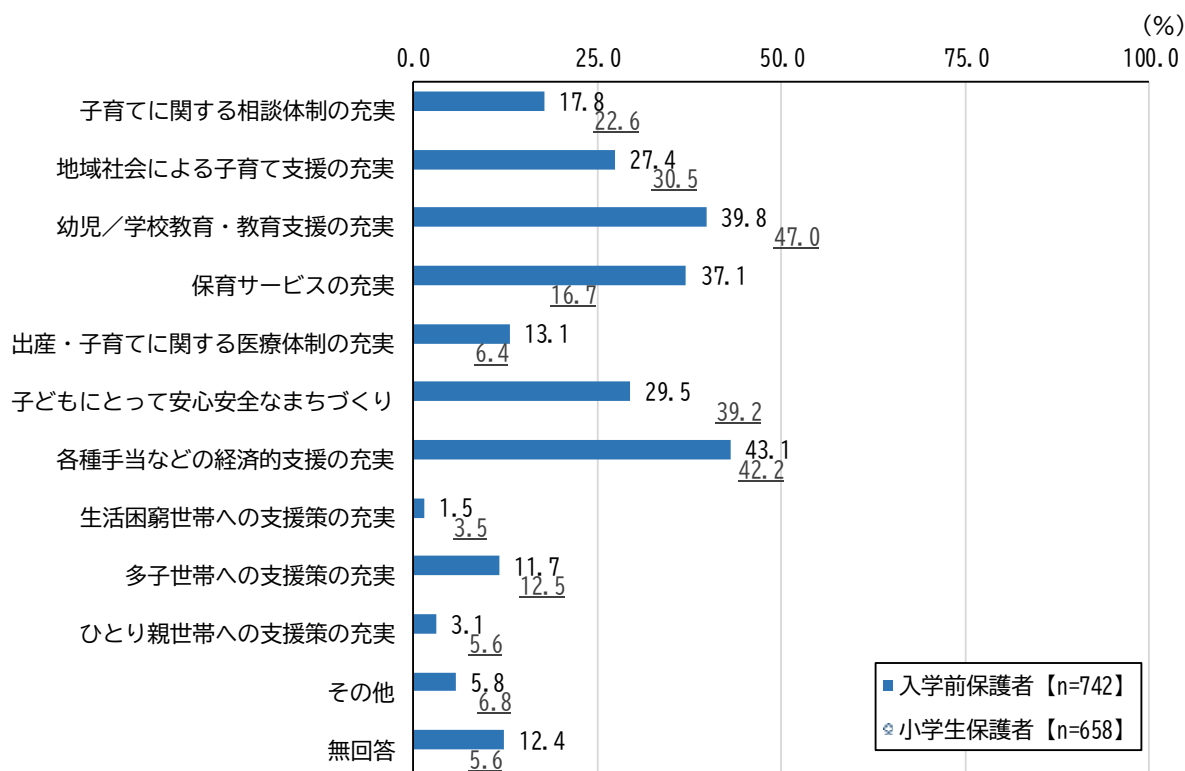
<小学生保護者>



(4) 悩みなどを解決するために必要な支援・対策

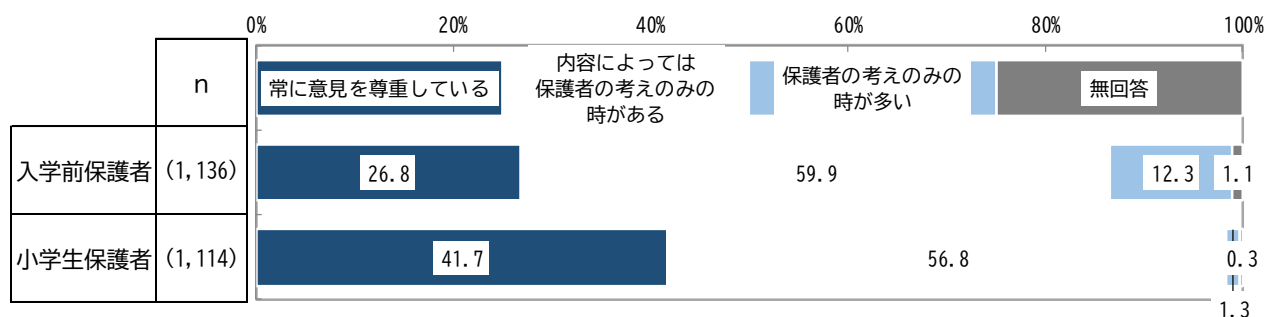
悩みを解決するための支援等について、入学前保護者では「各種手当などの経済的支援の充実」が43.1%と最も多く、次いで「幼児教育・教育支援の充実」が39.8%となっている。

小学生保護者では、「学校教育・教育支援の充実」が47.0%と最も多く、次いで「各種手当などの経済的支援の充実」が42.2%となっている。



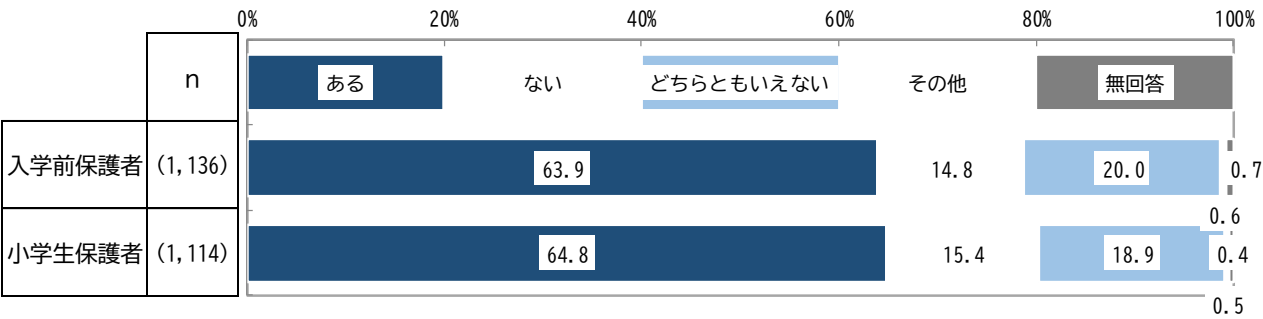
(5) お子さんの意見の尊重状況

子どもの意見の尊重状況について、「常に意見を尊重している」は入学前保護者で26.8%、小学生保護者で41.7%となっている。一方で、「内容によっては保護者の考えのみの時がある」は入学前保護者で59.9%、小学生保護者で56.8%となっており、「保護者の考えのみの時が多い」は小学生保護者で1.3%と少なくなっている。



(6) 子育てにおけるストレスの有無

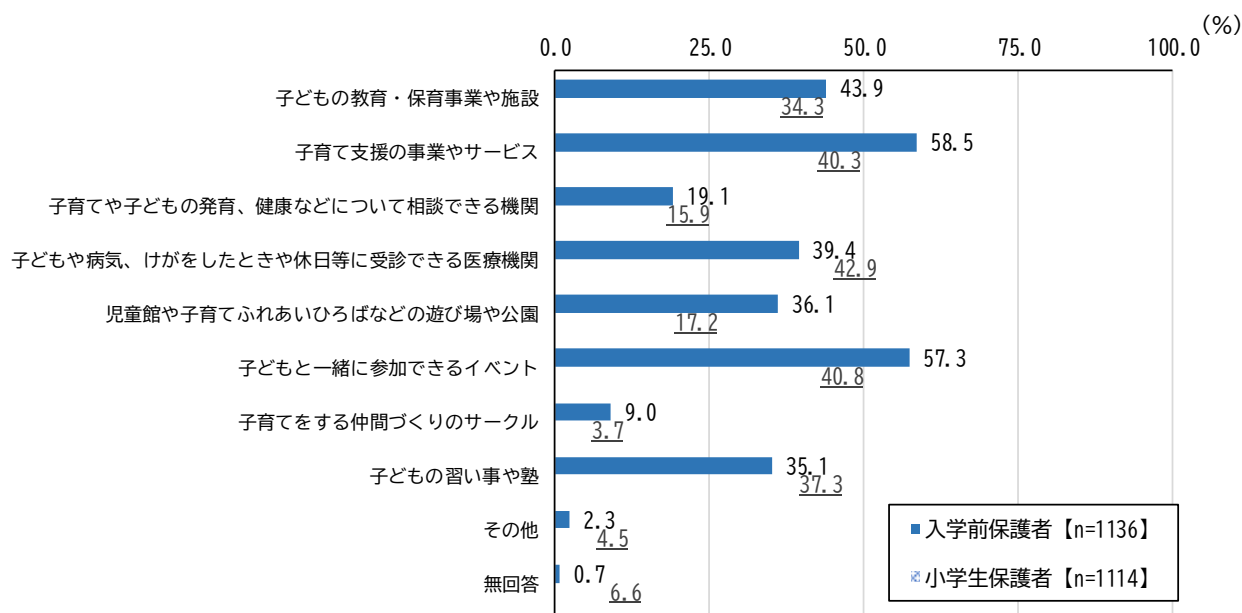
子育てにおけるストレスについて、「ある」は入学前保護者で 63.9%、小学生保護者で 64.8% となっている。



(7) 知りたい子育ての情報

知りたい子育て情報について、入学前保護者では「子育て支援の事業やサービス」が 58.5%と最も多く、次いで「子どもと一緒に参加できるイベント」が 57.3%となっている。

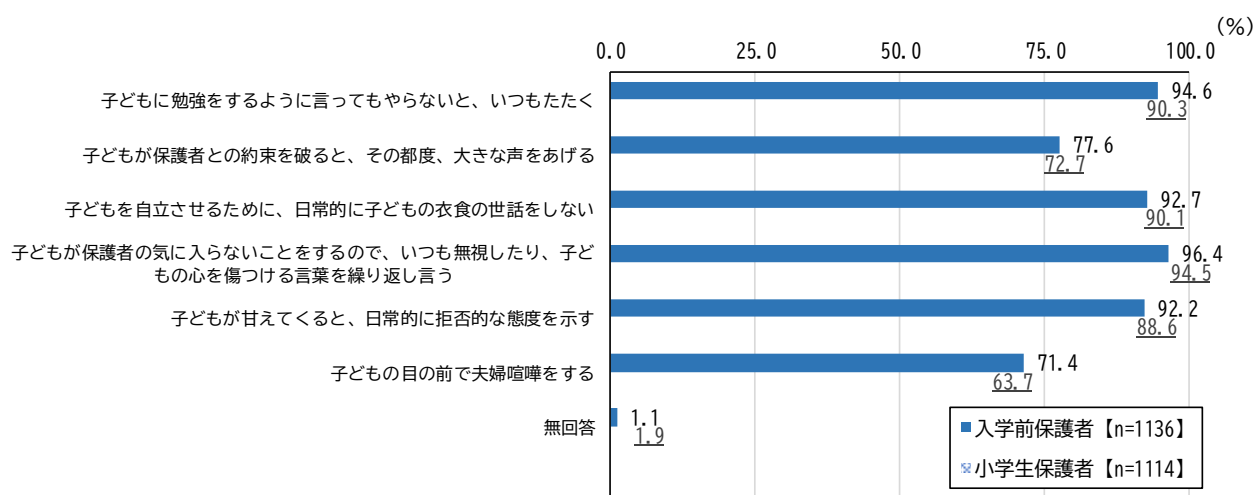
小学生保護者では「子どもが病気、けがをしたときや休日等に受診できる医療機関」が 42.9%と最も多く、次いで「子どもと一緒に参加できるイベント」が 40.8%となっている。



(8) 虐待だと思う行為

虐待だと思う子どもへの行為について、入学前保護者・小学生保護者ともに「子どもが保護者の気に入らないことをするので、いつも無視したり、子どもの心を傷つける言葉を繰り返し言う」が最も多く、次いで「子どもに勉強をするように言ってもやらないと、いつもたたく」となっている。

一方で、「子どもが保護者との約束を破ると、その都度、大きな声をあげる」や「子どもの目の前で夫婦喧嘩をする」は約7割となっており、入学前保護者に比べて小学生保護者では虐待だと思う割合が低くなっている。



第3章 子ども調査（小学生・中学生）

1. 放課後等の過ごし方

(1) 平日の放課後や休日にだれと過ごしているか

放課後等に過ごしている人について、小学生では、すべての時間帯で「お父さん・お母さん・おじいさん・おばあさん」が最も多くなっている。平日では“16時から18時”では「友だち」が次いで多く、それ以外の時間帯では「兄弟姉妹」が多くなっている。なお、「ひとりでのいる」は平日の“20時以降”で8.2%、休日の“夜間”で8.3%となっている。

中学生では、平日の“16時から18時”では「友だち」が51.7%と最も多く、それ以外の時間帯では「親や祖父母」が最も多くなっている。

なお、「ひとりでのいる」は平日の“20時以降”で25.7%、休日の“夜間”で23.8%となっている。

<小学生>

	n	平日			休日	
		16時から18時	18時から20時	20時以降	昼間	夜間
ひとりでのいる	1,544	22.3	13.3	8.2	10.1	8.3
お父さん・お母さん・おじいさん・おばあさん	950	50.5	81.3	90.9	84.3	93.5
兄弟姉妹	950	28.6	48.7	54.0	51.0	57.6
友だち	950	48.4	13.1	4.4	31.7	5.4
その他	950	19.0	14.6	5.9	8.8	2.7
無回答	950	0.7	1.2	0.6	0.4	0.6

※平日（18時から20時、20時以降）および休日（夜間）は小学校2年生が対象外

<中学生>

	n = 1,581	平日			休日	
		16時から18時	18時から20時	20時以降	昼間	夜間
ひとりでのいる	1,581	38.0	30.0	25.7	36.6	23.8
親や祖父母	1,581	29.1	65.3	77.4	61.7	82.7
兄弟姉妹	1,581	16.4	34.2	40.7	33.5	45.4
友だち	1,581	51.7	18.5	6.4	39.1	9.0
その他	1,581	11.8	10.8	6.5	6.6	3.1
無回答	1,581	1.2	0.8	0.8	0.9	0.6

(2) 平日の放課後や休日にどこで過ごしているか

放課後等を過ごす場所について、小学生では、すべての時間帯で「自分の家」が最も多く、次いで「塾や習い事」となっている。

中高生では、すべての時間帯で「自分の家」が最も多くなっている。平日の“16時から18時”では次いで「学校」が多く、平日の“18時から20時”“20時以降”休日の“夜間”では「塾や習い事」、休日の“昼間”では「目黒区以外の町」が多くなっている。

<小学生>

	n	平日			休日	
		16時から18時	18時から20時	20時以降	昼間	夜間
		1,544	950	950	1,544	950
自分の家		65.3	87.5	94.7	80.1	95.3
友だちの家		13.1	1.8	0.5	13.9	2.1
学校		11.6	1.3	0.2	2.5	0.2
塾や習い事		48.1	42.9	14.8	35.8	8.8
児童館		8.7	0.8	0.1	6.1	0.1
学童保育クラブ		18.2	0.4	-	0.7	-
放課後等デイサービス		2.9	0.1	0.1	0.9	-
公園		17.2	1.6	0.4	29.0	0.5
図書館		2.3	0.4	0.1	8.1	-
コンビニやファミレスなどのお店		1.2	0.6	0.5	5.9	3.5
目黒区以外の町		1.6	1.2	0.7	18.6	3.7
その他		2.8	1.8	0.7	16.4	4.5
無回答		0.5	1.1	1.1	0.6	1.2

※平日（18時から20時、20時以降）および休日（夜間）は小学校2年生が対象外

<中高生>

	n = 1,581	平日			休日	
		16時から18時	18時から20時	20時以降	昼間	夜間
自分の家		54.5	78.2	90.4	75.0	92.7
友だちの家		2.2	0.8	0.3	6.2	1.7
学校		53.6	10.6	1.0	16.6	0.9
塾や習い事		23.5	29.9	19.3	16.7	9.4
児童館		1.4	0.8	0.2	1.5	0.3
放課後等デイサービス		1.0	0.3	0.1	0.2	0.1
公園		3.0	1.5	0.6	6.5	1.2
図書館		2.0	1.2	0.4	4.4	0.5
コンビニやファミレスなどのお店		3.9	4.0	1.8	7.7	3.8
目黒区以外の町		7.8	5.9	2.6	19.8	5.2
その他		5.9	4.6	2.1	14.1	4.7
無回答		0.6	1.0	1.0	1.1	1.0

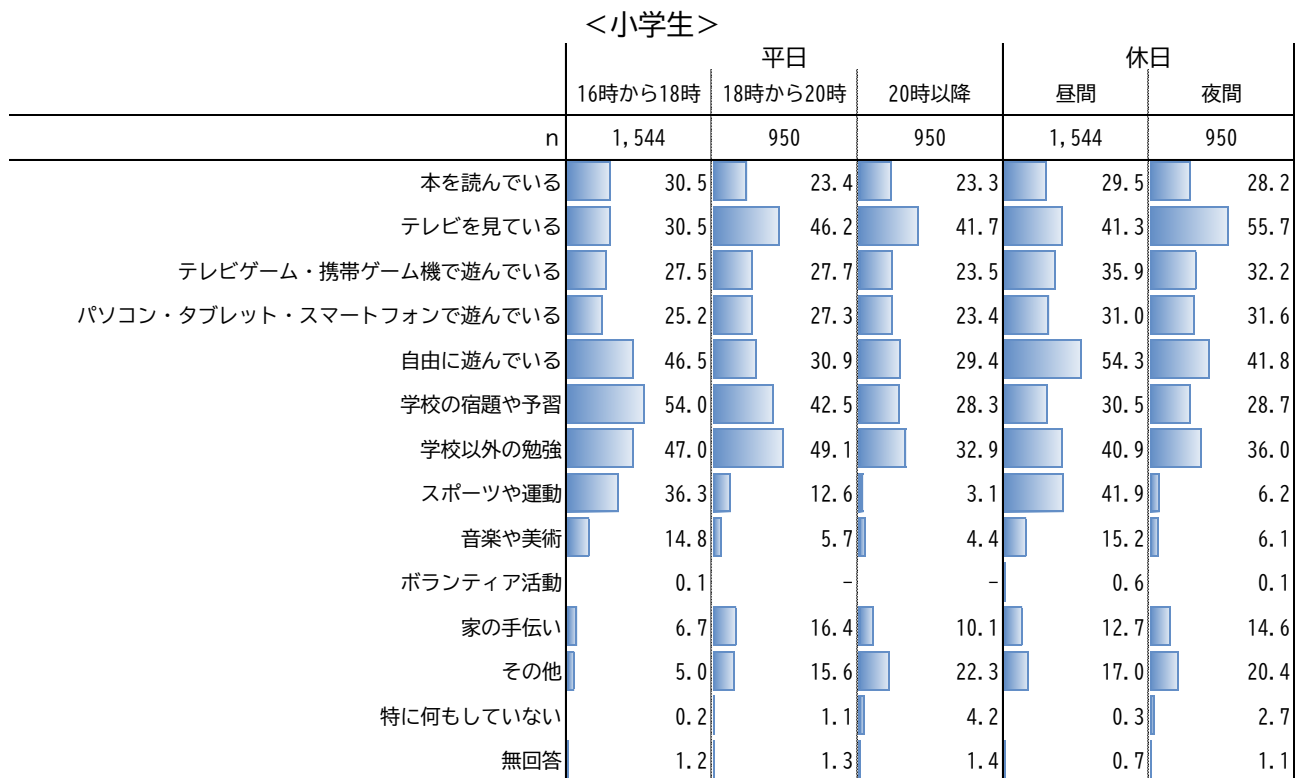
(3) 平日の放課後や休日になにをして過ごしているか

放課後等の過ごし方について、小学生では、平日の“16時から18時”では「学校の宿題や予習」が54.0%と最も多く、“18時から20時”では「学校以外の勉強」が49.1%、“20時以降”では「テレビを見ている」が41.7%となっている。

休日の“昼間”では「自由に遊んでいる」が54.3%と最も多く、“夜間”では「テレビを見ている」が55.7%となっている。なお、「家の手伝い」は平日の“16時から18時”を除く時間帯で約1割を占めている。

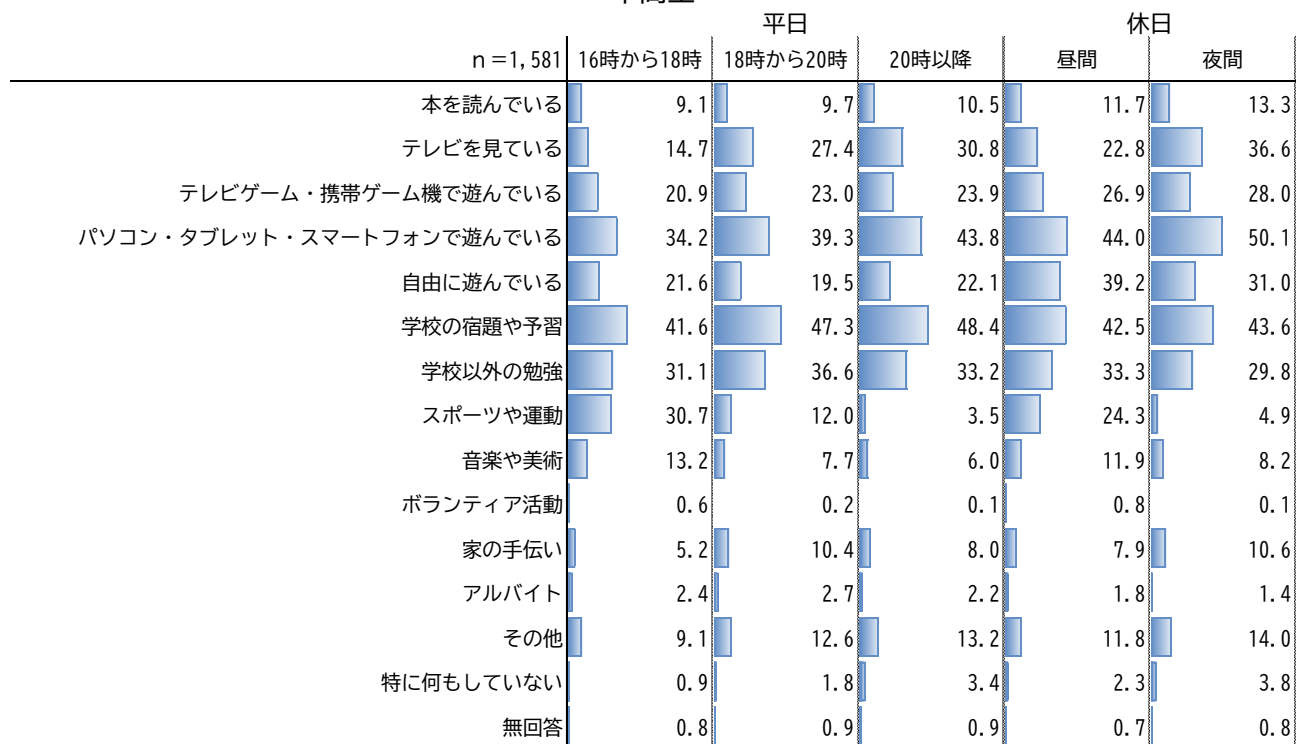
中高生では、平日の全ての時間帯で「学校の宿題や予習」が最も多く、休日では「パソコン・タブレット・スマートフォンで遊んでいる」が最も多くなっている。

なお、「家の手伝い」は平日の“16時から18時”を除く時間帯で約1割を占めており、「アルバイト」は平日の全ての時間帯で約2%となっている。



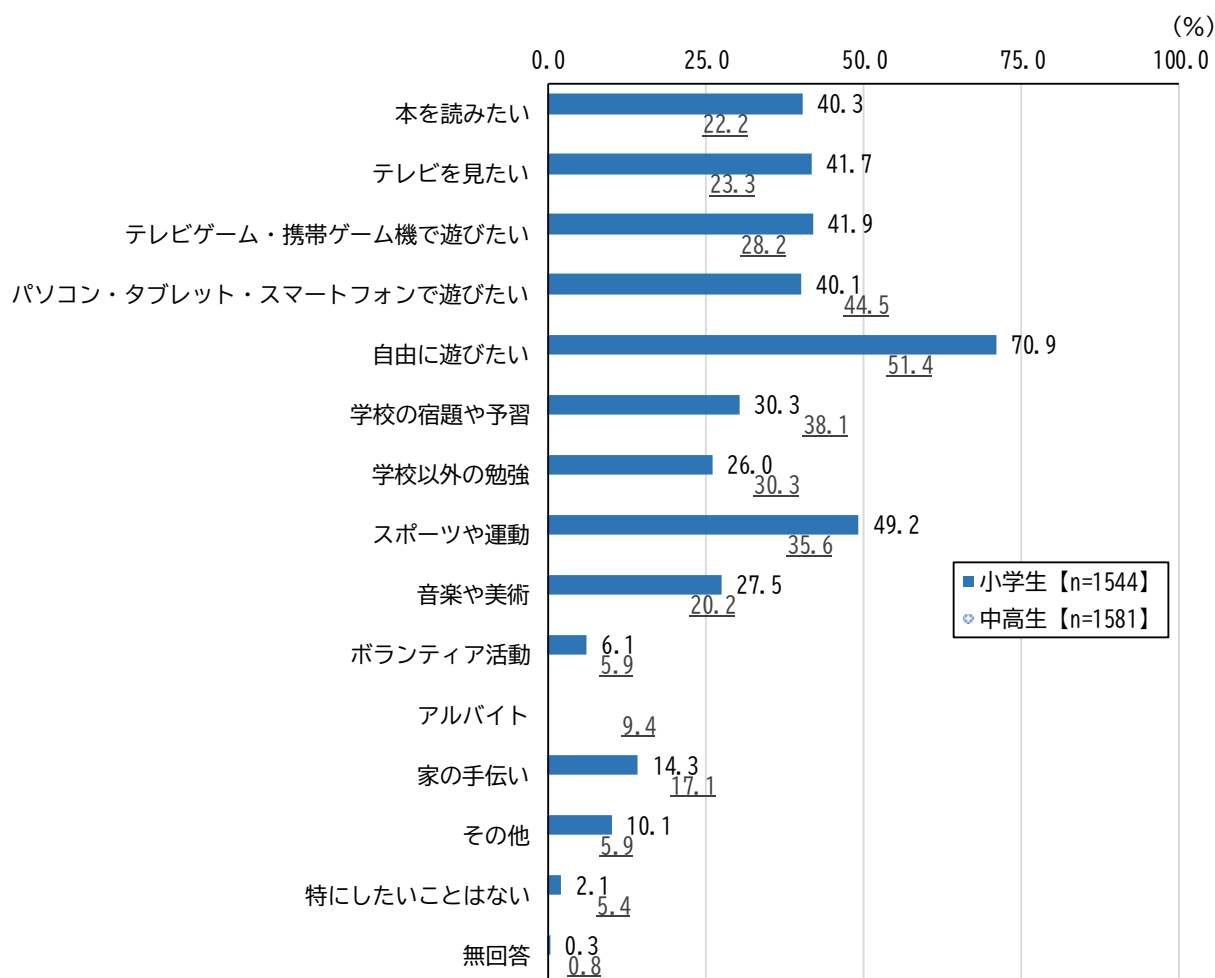
※平日（18時から20時、20時以降）および休日（夜間）は小学校2年生が対象外

<中高生>



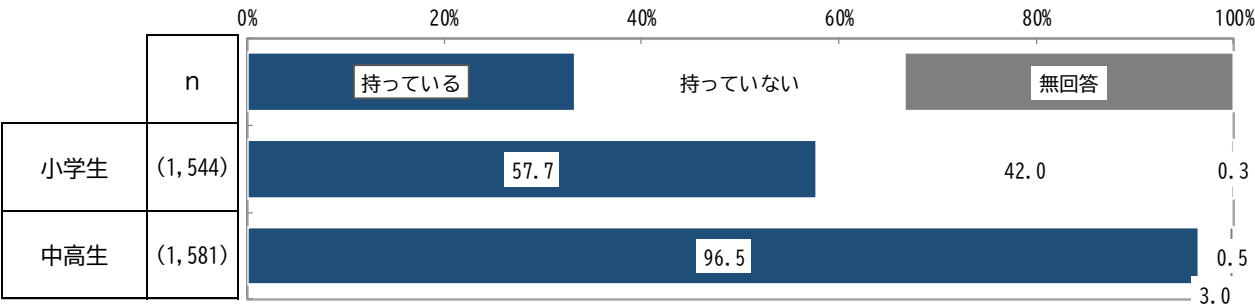
(4) 放課後に出来るとよいこと

小学生・中高生ともに「自由に遊びたい」が最も多く、小学生で70.9%、中高生で51.4%となっている。次いで、小学生では「スポーツや運動」が49.2%、中高生では「パソコン・タブレット・スマートフォンで遊びたい」が44.5%となっている。



(5) 携帯電話・スマートフォンの保有状況

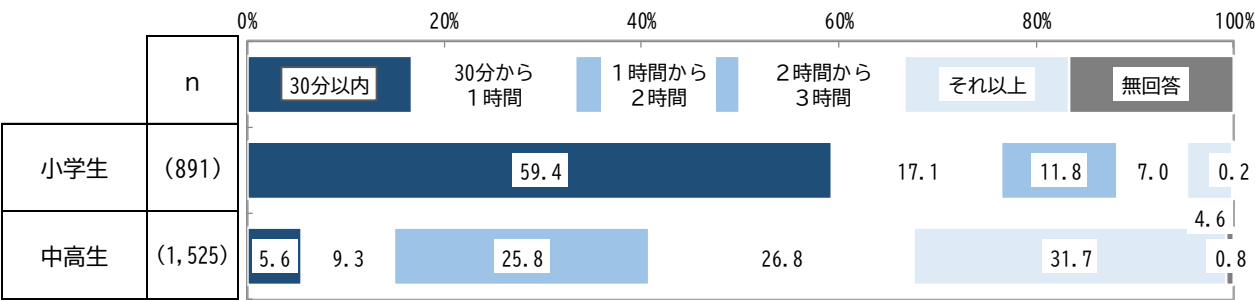
携帯電話やスマートフォンの保有状況について、小学生では「持っている」が57.7%、中高生では96.5%となっている。



(6) 携帯電話・スマートフォンの1日の使用時間

携帯電話やスマートフォンの使用時間について、小学生では「30分以内」が59.4%と最も多く、次いで「30分から1時間」が17.1%となっている。なお『1時間以上』は23.4%となっている。

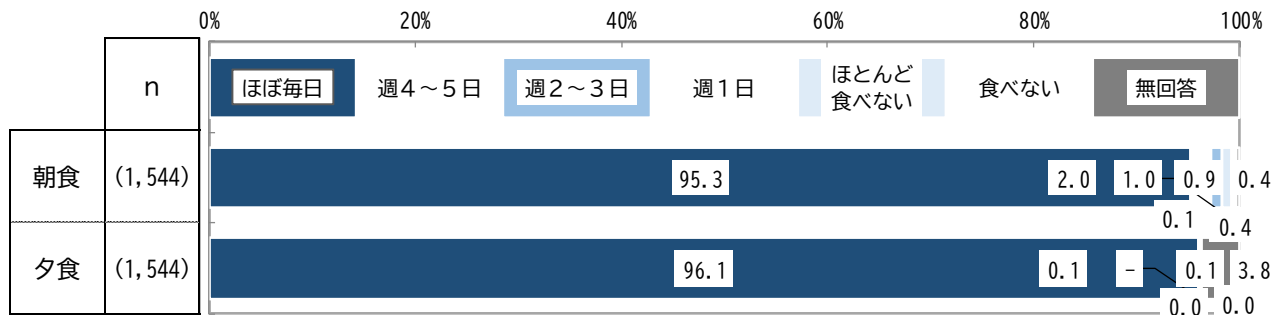
中高生では、「それ(3時間)以上」が31.7%と最も多く、次いで「2時間から3時間」が26.8%となっている。なお『1時間以上』は84.3%となっている。



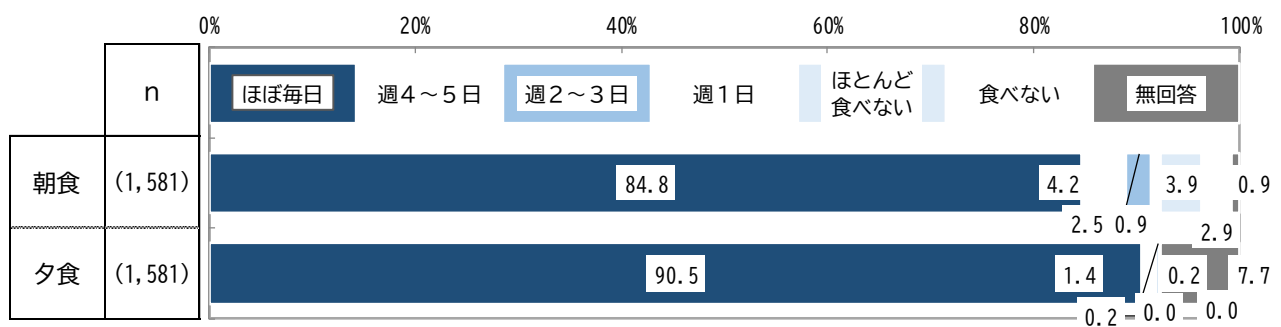
(7) 朝食・夕食の摂取状況

朝食・夕食の摂取状況について、小学生・中学生ともに「ほぼ毎日」は“朝食”“夕食”ともに9割以上を占めている。

<小学生>



<中高生>

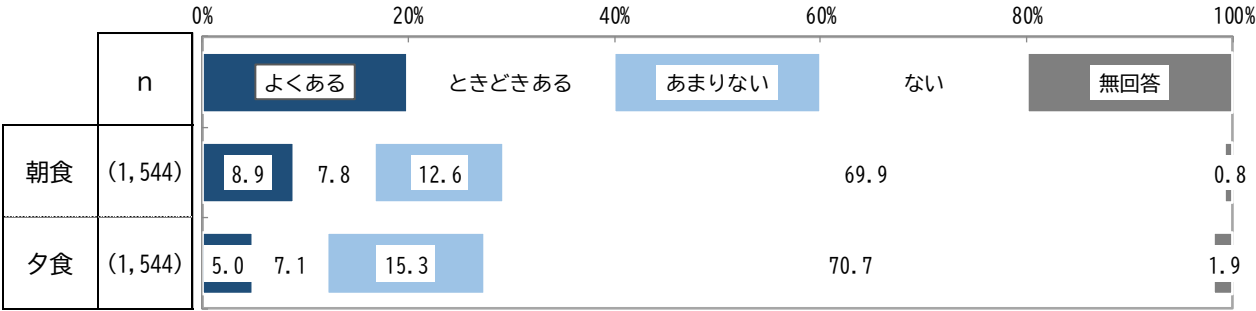


(8) 子どもだけで食事をする頻度

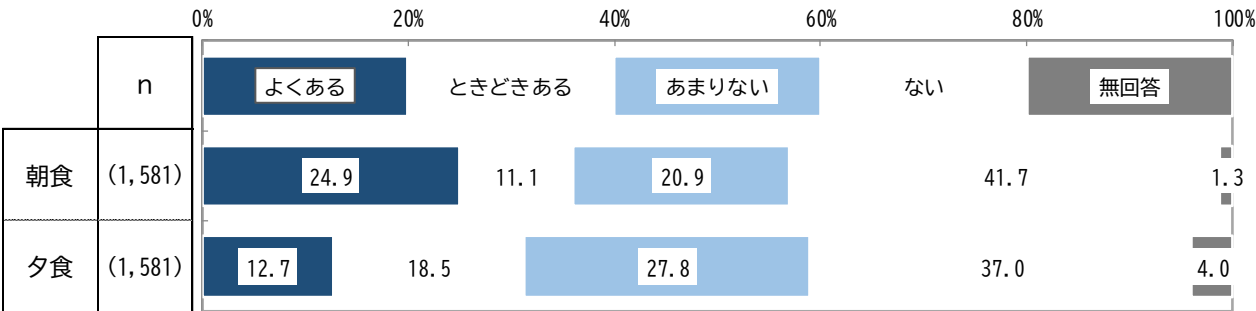
子どもだけで食事をする頻度について、「よくある」「ときどきある」の合計は、小学生では“朝食”で16.7%、“夕食”で12.1%となっている。

中高生では、“朝食”で36.0%、“夕食”で31.2%となっている。

<小学生>



<中高生>



2. 家庭

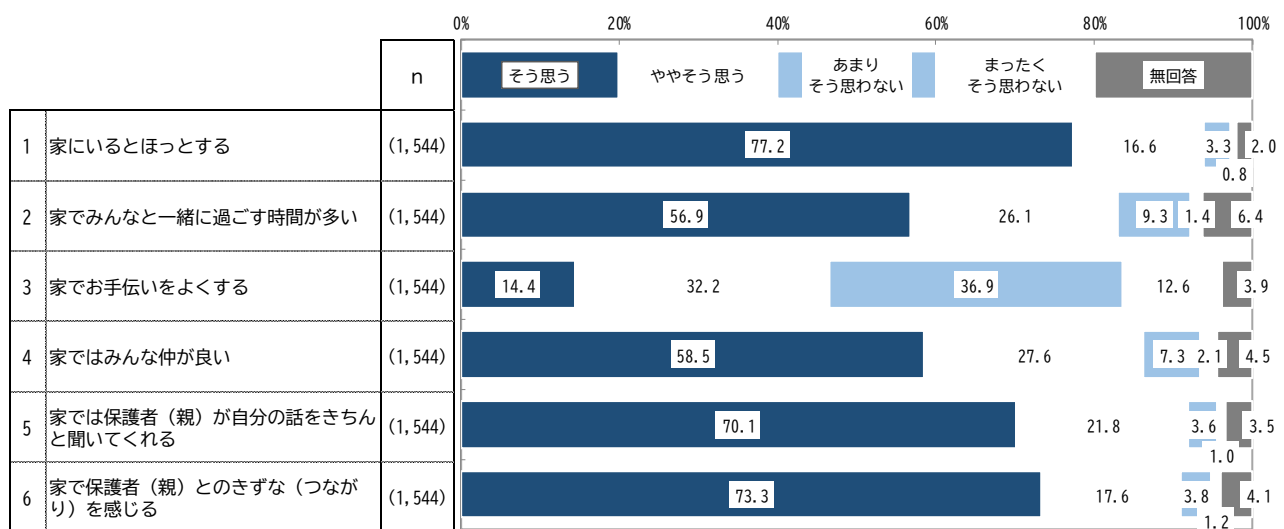
(1) 家での生活

家での生活について、「そう思う」「ややそう思う」の合計は、小学生では“家にいるとほっとする”で93.8%と最も多く、次いで“家では保護者が自分の話をきちんと聞いてくれる”で91.9%となっている。

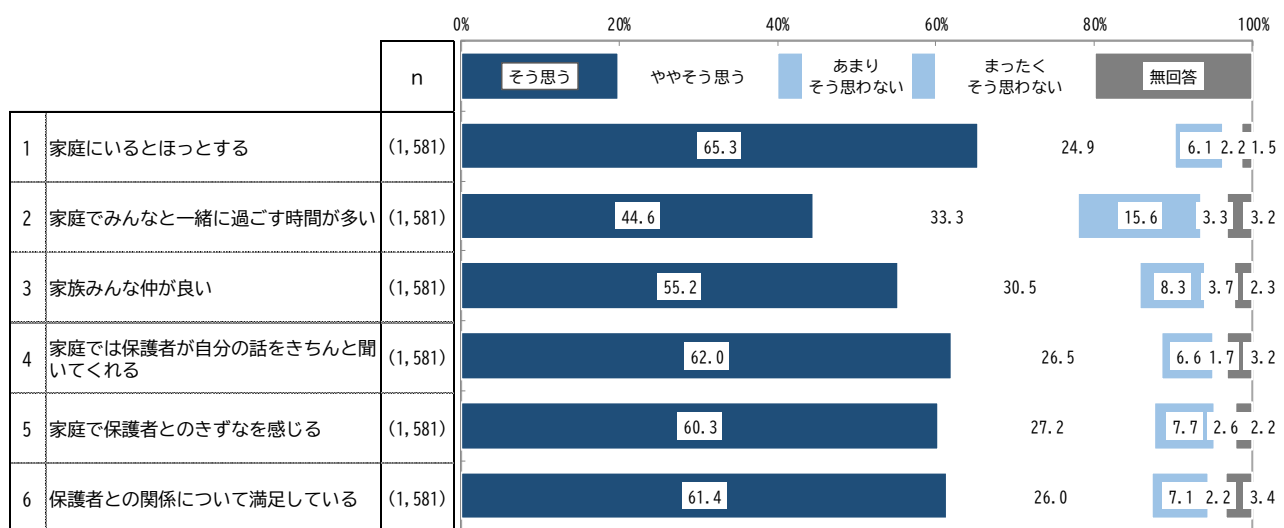
一方で、“家でお手伝いを良くする”では、「そう思う」「ややそう思う」の合計が、「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の合計を下回っている。

中高生では、“家庭にいるとほっとする”で90.2%と最も多く、次いで“家庭では保護者が自分の話をきちんと聞いてくれる”で88.5%となっている。

<小学生>



<中高生>



3. 人権

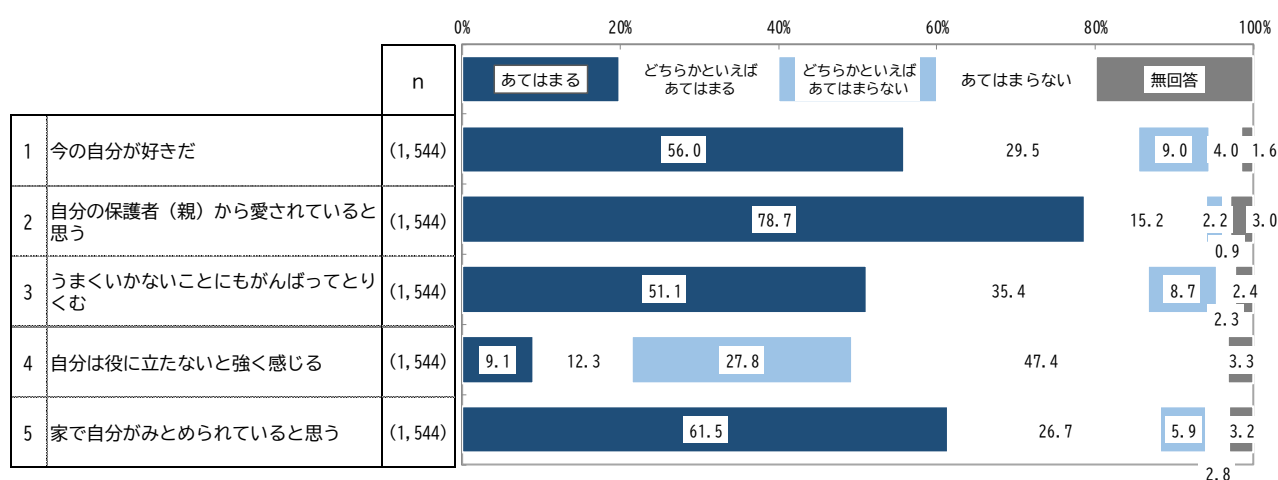
(1) 自分自身について

自分自身について、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計は、小学生では、“自分の保護者から愛されていると思う”で93.9%と最も多く、次いで「家で自分がみつめられていると思う」で88.2%となっている。なお、「自分は役に立たないと強く感じる」では21.4%となっている。

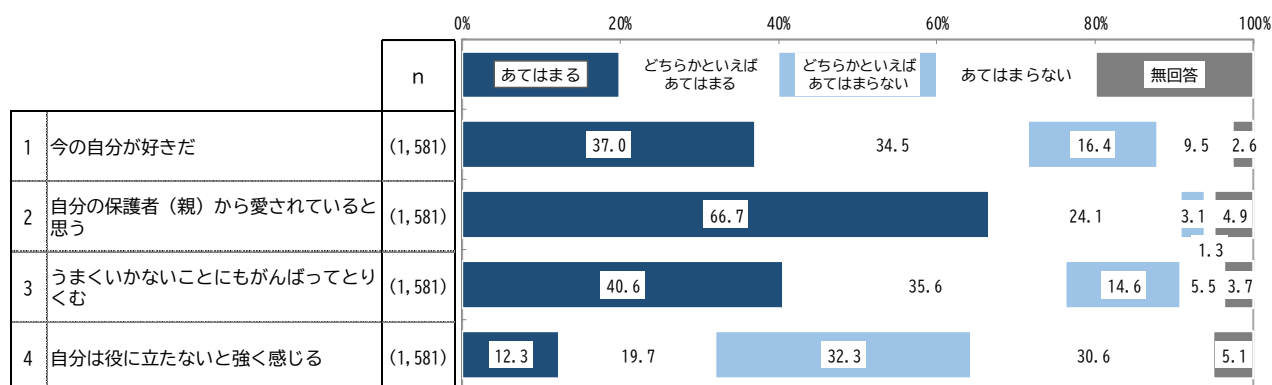
中学生では、“自分の保護者から愛されていると思う”で90.8%と最も多く、次いで「うまくいかないことがあってもがんばってとりくむ」で76.2%となっている。

なお、「自分は役に立たないと強く感じる」では32.0%となっている。

<小学生>



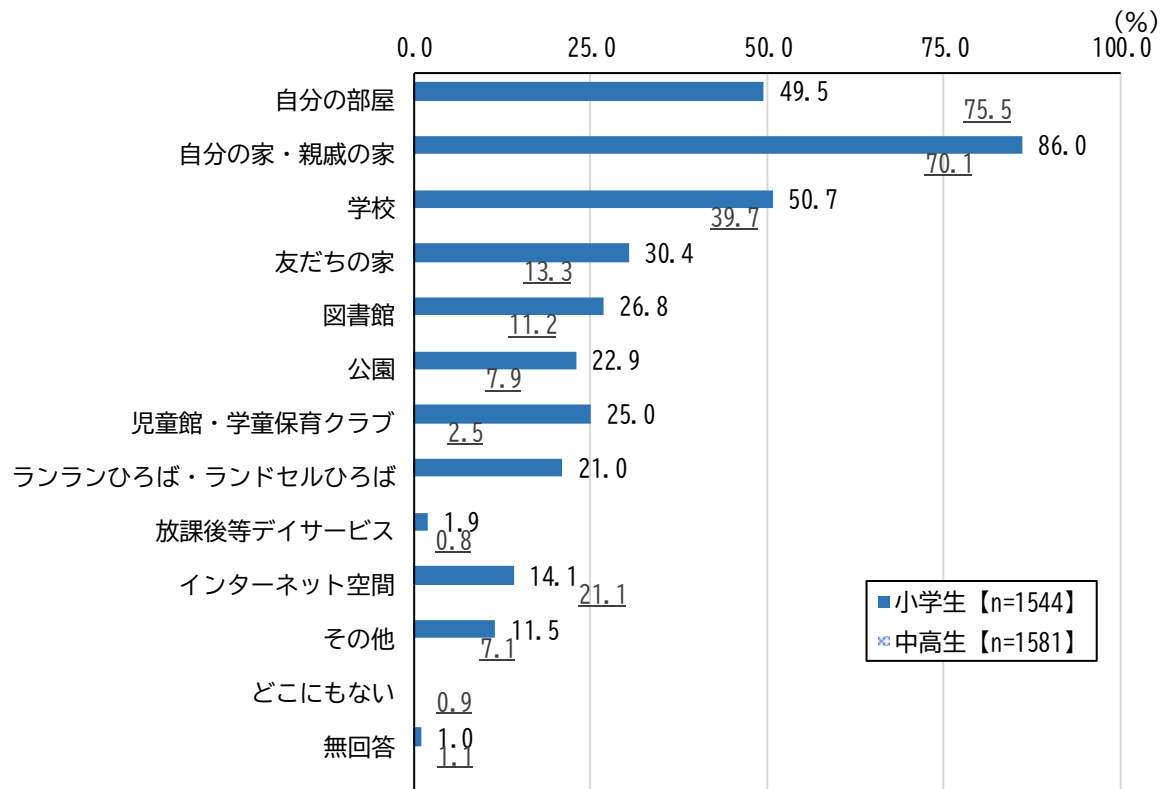
<中学生>



(2) 自分が落ち着ける、安心していられる場所

落ち着ける・安心していられる場所について、小学生では「自分の家・親戚の家」が86.0%と最も多く、次いで「学校」が50.7%となっている。

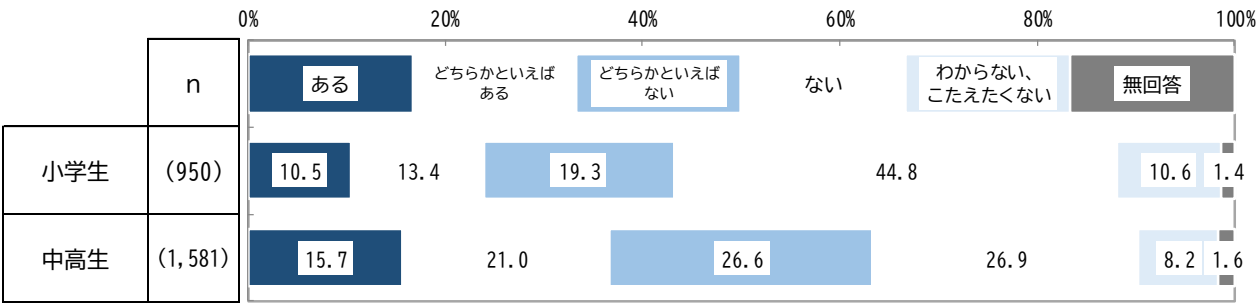
中高生では、「自分の部屋」が75.5%と最も多く、次いで「自分の家・親戚の家」が70.1%となっている。



4. 不安や悩み

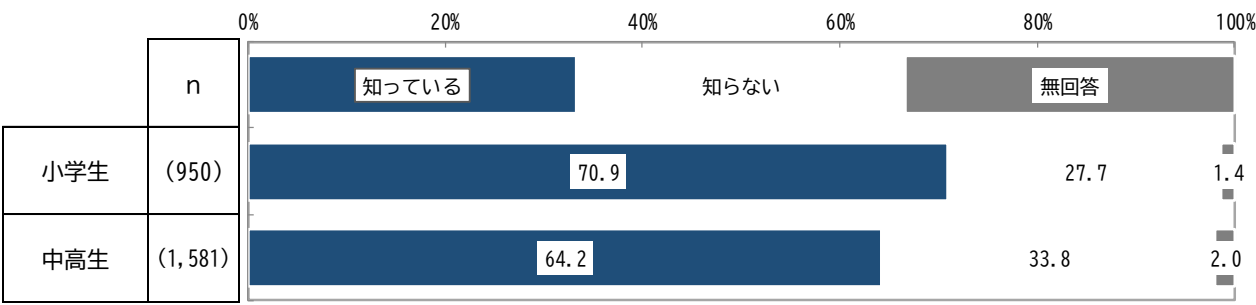
(1) 悩みや不安の有無

悩みや不安の有無について、「ある」が小学生では 10.5%、中高生では 15.7%となっている。



(2) 悩みの相談先の認知

悩みの相談先の認知度について、「知っている」が小学生では 70.9%、中高生では 64.2%となっている。



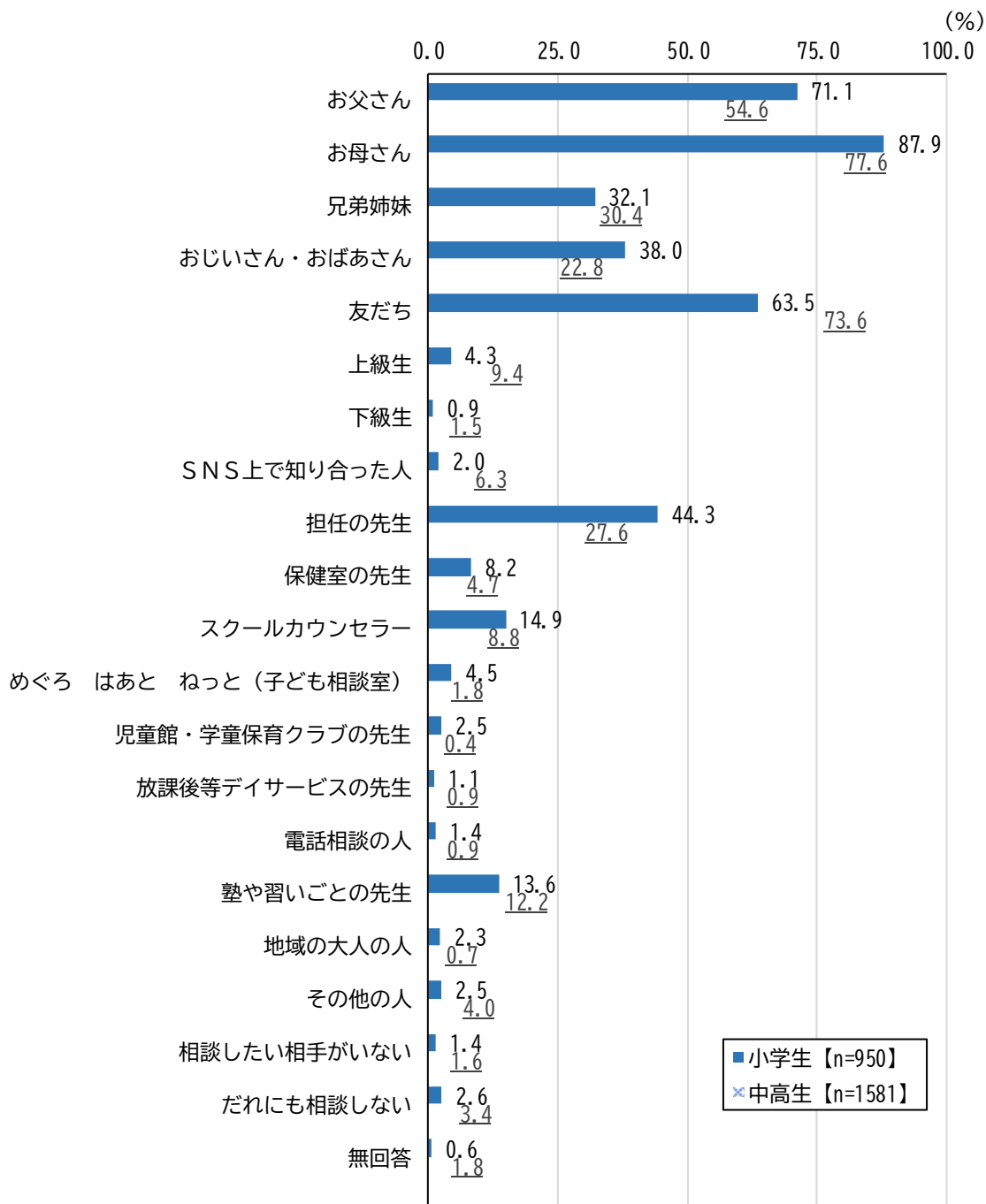
(3) 悩みを相談したら助けてくれそうな人・もの

悩みや困りごとを助けてくれそうな人・ものについて、小学生では「お母さん」が87.9%と最も多く、次いで「お父さん」が71.1%となっている。

一方で、「相談したい相手がいない」は1.4%、「誰にも相談しない」は2.6%となっている。

中高生では「お母さん」が77.6%と最も多く、次いで「友だち」が73.6%となっている。

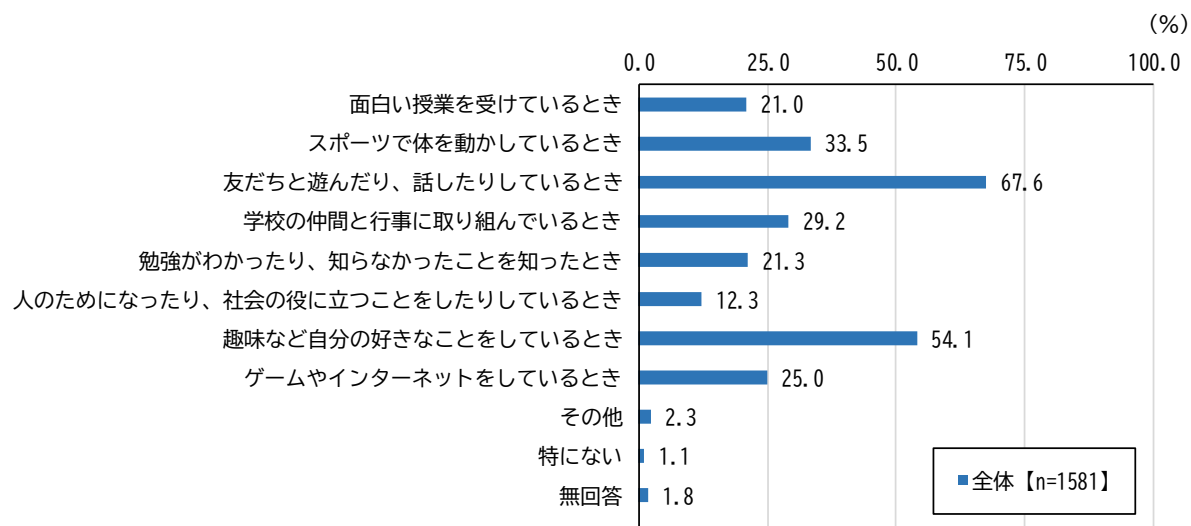
一方で、「相談したい相手がいない」は1.6%、「誰にも相談しない」は3.4%となっている。



5. 活動について

(1) 夢中になれること（中高生のみ）

夢中になれることについて、「友だちと遊んだり、話したりしているとき」が67.6%と最も多く、次いで「趣味など自分の好きなことをしているとき」が54.1%となっている。

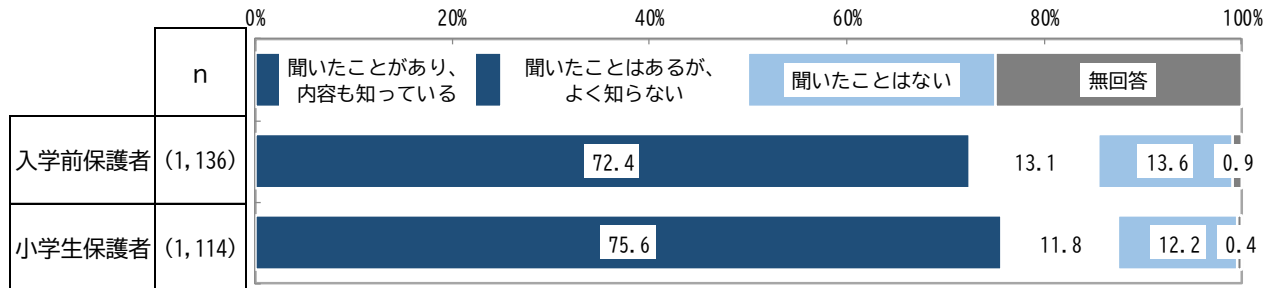


第4章 ヤングケアラーについて（保護者・子ども）

1. 保護者調査の結果

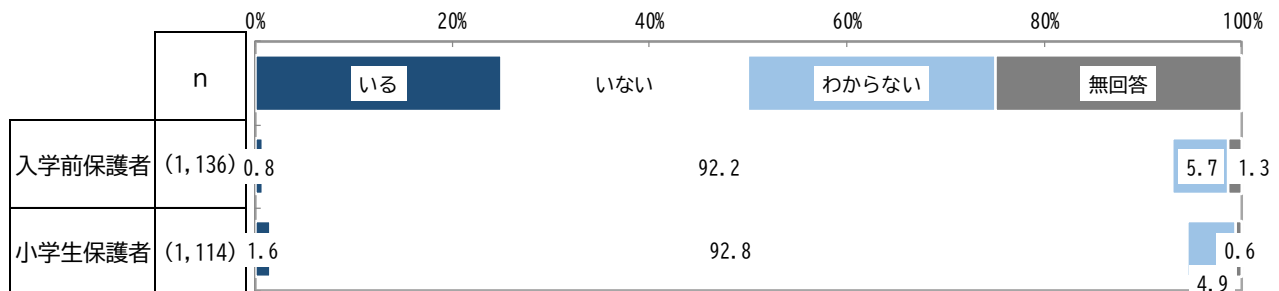
（1）ヤングケアラーの認知度

ヤングケアラーの認知度について、「聞いたことがあり、内容も知っている」は入学前保護者で72.4%、小学生保護者で75.6%となっている。



（2）家族内のヤングケアラーの有無

家族にヤングケアラーと思われる子どもの有無について、「いる」は入学前保護者で0.8%、小学生保護者で1.6%となっている。

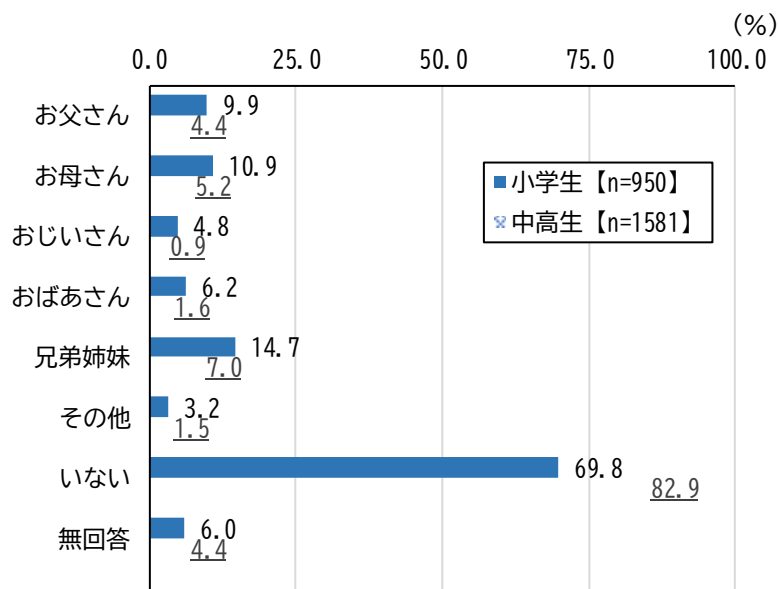


2. 子ども調査の結果

(1) 家庭内で自分が世話をしている人

家庭内で自分（子ども）が世話をしている人について、「いない」は小学生で69.8%、中高生で82.9%となっている。

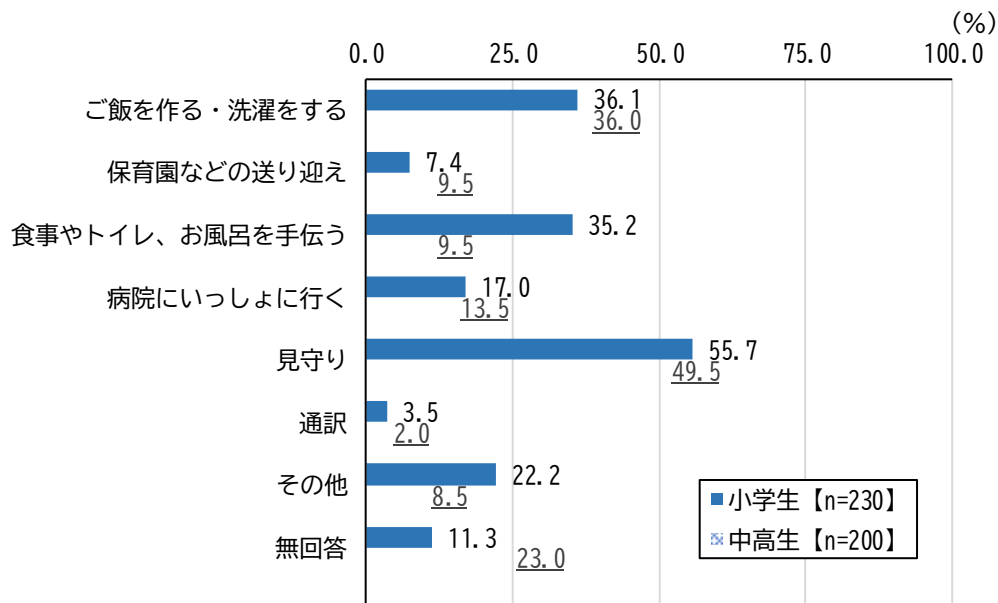
一方で、小学生・中高生ともに「兄弟姉妹」が最も多くなっている。



(2) お世話の内容

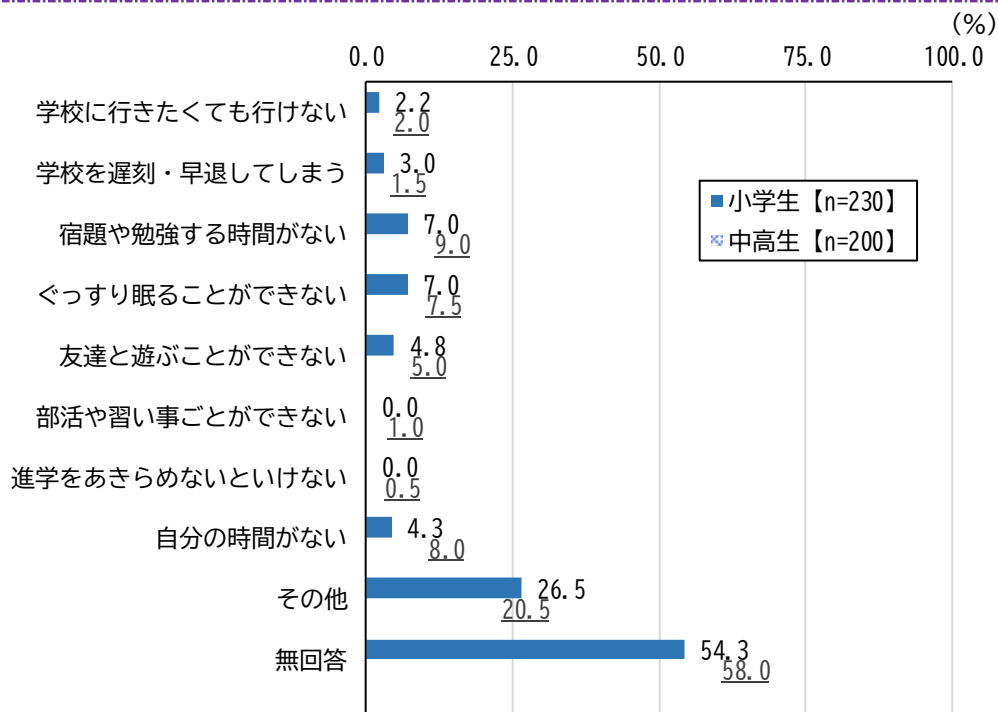
家族へのお世話の内容について、小学生・中高生ともに「見守り」が最も多く、次いで「ご飯を作る・洗濯をする」となっている。

なお、小学生では中高生に比べて「食事やトイレ、お風呂を手伝う」が多くなっている。



(3) お世話をすることで困っていること

家族へのお世話で困っていることについて、小学生・中高生ともに「宿題や・勉強する時間がない」が最も多く、次いで小学生では「ぐっすり寝ることができない」、中高生では「自分の時間がない」となっている。

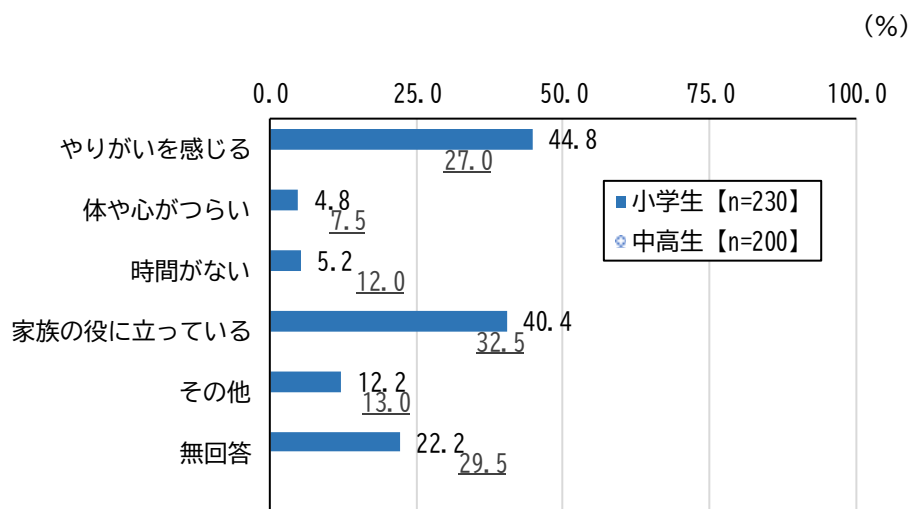


(4) お世話をすることで感じていること

お世話で感じていることについて、小学生では「やりがいを感じる」が44.8%と最も多く、次いで「家族の役に立っている」が40.4%となっている。

中高生では「家族の役に立っている」が32.5%と最も多く、次いで「やりがいを感じる」が27.0%となっている。

一方で、「体や心が辛い」は小学生で4.8%、中高生で7.5%となっている。



目黒区 子ども総合計画改定に係る基礎調査
調査結果報告書
【概要版】

令和6年3月発行

発行 目黒区
編集 目黒区子育て支援部子育て支援課
東京都目黒区上目黒二丁目19番15号
電話 03-3715-1111
株式会社日本能率協会総合研究所
東京都港区芝公園3丁目1番22号

